第三講　接続語

順接……文と文の関係が「**原因や理由→結果**」の流れになっている。
【それゆえ・そのため・ゆえに・したがって・だから・こういうわけで・その結果・かくて・かくして・こうして・すると】

例文1　このタワーには高速エレベーターがある。**それゆえ**、瞬時に展望台に到着できる。
例文2　ビーンズスープはひどく熱かった。**そのため**、私は舌をやけどしそうになった。
例文3　日本は情報化社会である。**したがって**、情報を吟味する教養が問われるようになったと言える。

理由説明……文と文の関係が「**結果→原因や理由**」の流れになっている。
【なぜなら・というのも・なぜならば】

例文1　展望台には瞬時に到着できる。**なぜなら**、このタワーには高速エレベーターがあるからだ。
例文2　私は舌をやけどしそうになった。**というのも**、ビーンズスープがひどく熱かったからだ。
例文3　情報を吟味する教養が問われるようになっている。**なぜならば**、日本は情報化社会だからだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

言い換え説明……文と文、あるいは単語と単語の関係が言い換えになっている。
【つまり・すなわち・言い換えれば・換言すれば・いわば・言ってみれば】

例文1　私は徒歩で、**つまり**、自分の脚力を使って丘の上の学校に通学している。
例文2　赤く完熟した夏野菜の代表が皿に盛られていた。**すなわち**、トマトのスライスである。
例文3　日本は少子高齢社会である。**言い換えれば**、少産で少死の長寿社会である。

選択……文と文、あるいは単語と単語の関係が選択の候補になっている。
【あるいは・または・もしくは・それとも・はたまた】

例文1　お好きな映画ジャンルはスパイアクションですか。**あるいは**、コメディですか。
例文2　朝の食卓に上るのは、決まってトマトジュースか、**もしくは**、クランベリージュースであった。
例文3　日本社会は高度な消費社会とも呼べるし、**または**、成熟した資本主義社会とも言える。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

並列・並立……文と文、あるいは単語と単語の関係が横並びになっている。
【また・ならびに・および・そして・同時に】

例文1　美しいムラサキツユクサが咲いていた。**また**、レンゲソウも開花するところだった。
例文2　食卓には、揚げたてのエビフライが供され、**そして**、カキフライも並んでいた。
例文3　日本の住宅建築は、台風**ならびに**、地震などの自然災害に対する備えが必要である。

添加・追加……文と文、あるいは単語と単語の関係が上乗せの追加になっている。
【さらに・しかも・加えて・それから・その上・それに・なお・だけでなく・のみならず】

例文1　まず、バスで駅まで行きます。そこから都心まで電車に乗り、**さらに**、地下鉄に乗り換えます。
例文2　彼は熱いコーヒーとフレンチトーストを注文した。**加えて**、デザートにガトーショコラをオーダーした。
例文3　日本社会は国際化しつつあり、**しかも**、価値観の多様化も進んでいる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

時間の経過……文と文、あるいは単語と単語の関係が時間経過の前後になっている。
【やがて・その後・かくて】

例文１　幼少期の夢は、建築家だった。**やがて**、高校の頃には私の興味はインテリアに移っていた。
例文２　図書館でパスタのレシピ本を借りた。**その後**、食材をマーケットで買い求めた。
例文３　明治時代に義務教育制度がスタートした。**かくて**、百年のうちに識字率は百パーセントになったのである。

逆接……文と文、あるいは単語と単語の関係が対比的・対照的・対立的になっている。
【だが・しかし・けれども・ところが・それなのに・それにもかかわらず】

例文１　朝からどしゃぶりの雨だ。**だが**、彼は傘も持たずに出かけたのである。
例文２　昼食は軽めに済まそうと考えていた。**それにもかかわらず**、天井特盛を注文してしまった。
例文３　冷戦時代は終わった。**しかし**、世界の平和が実現されたわけではない。

※補足【～ではなく、むしろ～・～というより、むしろ～】というタイプの逆接もある。
例文　日本は格差社会というより、**むしろ**、格差感社会と言える。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

譲歩……メインメッセージの前フリを導く。一歩ゆずって、比較メッセージを語る。

【なるほど・たしかに・もちろん・むろん】

例文1　**むろん**、山の紅葉は悪くない。けれども、私のおススメは港町の夜景の方だ。

例文2　**なるほど**、スイーツは別腹だという。しかし、特盛牛丼を食べた私はもう満腹だ。

例文3　**たしかに**、一億総中流と言われた時代があった。だが、今では深刻な格差がある。

話題転換・問題提起……話題がかわる。新たな問題や話題を出す。

【さて・そこで・ところで・閑話休題・では・それでは】

例文1　学生時代、私の趣味は自転車の改造でした。**ところで**、あなたのご趣味はなんですか。

例文2　和菓子職人の話は以上です。**さて**、ここから洋菓子のパティシエの話をしましょう。

例文3　「知は力なり」とフランシス＝ベーコンは言った。**では**、ルネ＝デカルトはなんと言ったか。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

具体例……文と文、あるいは単語と単語の関係が「**まとめ→具体例**」になっている。
【例えば・例を挙げれば・具体的にいえば】

例文1 市内では自家用車ではなく公共交通機関が移動には便利ですよ。**例えば**、地下鉄だね。
例文2 中華まんには豊富な具材がつまっている。**例を挙げれば**、タケノコやシイタケや豚ひき肉である。
例文3 環境問題にも様々ある。**具体的にいえば**、地球温暖化、オゾン層の破壊、生物多様性の危機などだ。

まとめ……文と文、あるいは単語と単語の関係が「**具体例→まとめ**」になっている。
【このように・このような・こうして・こうした・まとめれば・以上のように・つまり・したがって】

例文1 市内の移動には鉄道やバスや路面電車がおススメです。**こうした**公共交通機関が便利です。
例文2 タケノコやシイタケや豚ひき肉など、**このように**中華まんには豊富な具材がつまっている。
例文3 地球温暖化、オゾン層の破壊、生物多様性の危機などが挙げられる。**以上のように**環境問題にも様々ある。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

強調……とくに強調したい単語や文を導く。
【なかでも・とくに・なかんずく・とりわけ・わけても・とりわけても】

例文1　明日の関東地方の天候は荒れ模様です。**なかでも**、沿岸部は強風と高波に注意してください。
例文2　イタリアンジェラートが好きですね。**とくに**、シンプルなバニラ・フレーバーが最高だね。
例文3　日本の先端的な企業には競争力がある。**とりわけ**、ナノテク分野は有望と言える。

比喩……たとえによる言い換え説明を導く。
【まるで・あたかも・さも・さながら・ちょうど・いわば】

例文1　三日降り続いた雨で、運動場はひどくぬかるんでいた。**さながら**泥の海だ。
例文2　手からこぼれ落ちたピーナッツは、**あたかも**生きているかのように飛び跳ねて視界から消えた。
例文3　バブル期の経済では、不動産価格の上昇が**まるで**永遠に続くかのように信じられていた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

練習問題1

次の文に含まれる［　　］に適切な語を、選択肢から選んで書き込みなさい。ただし、一度選んだ選択肢は二度使えません。

① 日本には、ボランティア団体であるＮＰＯ法人が四万以上ある。［　　］、数が多いのは、保健医療福祉分野の団体である。

選択肢【　そのため　つまり　例えば　また　とりわけ　】

② 日本での寄付の総額は一兆円である。そのうち、個人の寄付が約五十二％、［　　］法人が約四十八％となっている。

③ アメリカでは州によってはボランティアが中高生の必須科目になっている。［　　］、カリフォルニア州では十二時間の活動が卒業までに必要である。

④ 衆議院選挙の投票率は若い世代ほど低い傾向にある。［　　］、若者の政治的無関心が広がっていると言われる。

⑤ 産業用ロボットの稼働台数は世界一と言われる。［　　］、製造業の自動化が日本では進んでいるのだ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

練習問題2

次の文に含まれる［　　］に適切な語を、選択肢から選んで書き込みなさい。ただし、一度選んだ選択肢は二度使えません。

選択肢【　ならびに　　なかでも　　その後　　しかし　　たしかに　】

① なるほど、男女雇用機会均等法はこれまで改正を重ねてきた。［　　］、男女格差が十分に是正されているとは言えない。

② 日本の新聞発行部数は、九〇年代末をピークに、［　　］、ゆるやかに減少傾向を続けている。

③ 国際競争力では、日本の技術開発力［　　］、消費者の洗練度は最高水準である。

④ ［　　］、企業は自社の利益を真っ先に考えるものだ。しかし、社会的責任も考えに入れなければならない。

⑤ 地方自治体は、様々な課題に直面している。［　　］、空き家やゴミ屋敷は深刻な問題だ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

練習問題３

次の文に含まれる［　　］に適切な語を、選択肢から選んで書き込みなさい。ただし、一度選んだ選択肢は二度使えません。

選択肢【　では　むしろ　なぜなら　その上　あるいは　】

① 世界では難民問題が深刻化している。戦争難民が二千万人を超え、［　　］、環境難民も二千万人を超えている。

② 淡水は実は希少資源である。［　　］、地球上の水資源のうち海水がおよそ九七％を占めるからだ。

③ 廃プラスチックの相当な量が、再利用されているか、［　　］、熱回収という方法で役立っている。

④ 野生動物の保護を目的とするワシントン条約については以上です。［　　］、湿地保護のラムサール条約の話に移りましょう。

⑤ 世間のイメージに反して、少年の凶悪犯罪の総数は増えてはいない。［　　］、数は減少傾向である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

接続語の復習問題１

次の文に含まれる［　　］に適切な語を、選択肢から選んで書き込みなさい。ただし、一度選んだ選択肢は二度使えません。

選択肢【　それゆえ　このように　というのも　けれども　あたかも　】

①［　　］教育立国であるかのように思われがちだが、日本では教育費の私費負担率が高いのが実態である。

②例えば、内科、外科、婦人科、小児科、眼科などがある。［　　］、病院の診療科は多岐にわたる。

③ジェネリック医薬品の普及率が上昇しつつある。［　　］、政府の促進予算が付くようになったからだ。

④公共交通機関のバリアフリー化はまだ十分とは言えない。［　　］、移動に制約や困難を伴う人が多くいる。

⑤なるほど医師の総数は増えている。［　　］、産科婦人科医は減っているのが日本の現状である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題2

次の文章に含まれる［　　］に適切な語を、選択肢から選んで書き込みなさい。ただし、一度選んだ選択肢は二度使えません。

選択肢【　また　　例えば　　まるで　　したがって　】

知識とは眼鏡である。

もちろん、これは、すべての知識人は眼鏡をかけているなどという意味ではない。正確に言えば、知識とは、それがあるときとないときとでは、ものの見え方、世界のあらわれ方が違ってくるものであり、その点で眼鏡になぞらえることができる、と言いたいのである。ゆえに正確には、知識とはまるで眼鏡のように機能するものである。

実際に眼鏡をかけている人にはわかりやすいだろうが、それまで茫漠（ぼうばく）とかすんでいた視界が、眼鏡をかけたとたん、はっきりと見えてくる。さっきまでぼやけていたあの物は、実はこういう物だったのか、という具合に。

同様に、知識があれば今までわからなかったことに説明がつく。例えば、子供の頃に説明がついていた世界と大人になった今、説明理解できる世界とを比べれば、このことはわかりやすいだろう。

ところで、知識には様々な種類がある。［　　］、「眼鏡」をかけることで、それぞれに見えてくる世界がちがうということになる。［　　］経済学の知識＝「眼鏡」があれば、人間の社会活動やお金の流れなどは、他の人とは違って見える。［　　］、法律学者が見ているこの世界と他の人が見ているこの世界とでは違いがある。さらに、知識がより体系化されたものである「理論」は一層、眼鏡らしい性質をもつ。端的な例を挙げれば、マルクス主義の理論から見れば、世界は階級対立の世界と映る。この意味で、知識とは色眼鏡であると表現することもできる。また特殊な領域を知り、理解するためには特殊な知識や理論が必要になる。こうした専門知識での眼鏡は［　　］、顕微鏡や天体望遠鏡のように機能すると言うことができる。

（小柴（こしば）　大輔（だいすけ）『知識とはどういうものか』）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題3

次の文章に含まれる［　　］に適切な語を、選択肢から選んで書き込みなさい。ただし、一度選んだ選択肢は二度使えません。

選択肢【　あるいは　例えば　では　すなわち　このように　】

私たち人間の認識、知識の状態には三つの段階があるように思われる。［　　］、知識が頭の中にある状態、口で話された状態、そして文字で「かかれた」状態の三つである。

［　　］、私たちは次のようなことを日常的に経験しているのではないだろうか。ある事柄について、頭ではわかっているつもり、自分ではわかっているはずのことを、いざ人に話して説明しようとするとうまくいかないという経験だ。［　　］、会話の中ではすらすら言えたことが、文字・文章として書き記そうとすると、つっかえてしまうという経験である。

［　　］、認識、知識の三つの状態の間には明らかに断絶が存在する。

さて、これら三つの間の違い、差異について考えていく前に重要なことは、この三つの状態いずれにも言葉、言語が関わっているということである。話したり書いたりするときに言葉が使われるということは言うまでもないが、頭の中で考えるときにも私たちは言葉を使って考えている。疑わしいと思う人は、自分で早速試してみるがいい、言葉を使わずに考えることができるかどうか。ここに書かれていることに対する同意にしろ反論にしろ、あなたはすでに言葉を使ってそうしているはずだ。いや、思考というより、もっと感覚的な次元においてすら、「痛い」「おいしい」「悲しい」「うれしい」等々、私たちは言葉を通じて感じているのである。

［　　］、知識＝認識が頭の中にある状態、話された状態、書かれた状態の三つの差異は、どのようなものとしてあらわれてくるのか。すなわち、それらの間に横たわっているのは言葉の明確さ・明断性の度合いの違いであり、普遍性の程度の違いである。言い換えれば、知識＝認識が頭の中にある状態では、それは自分だけの了解であったわけだが、話すときには自分

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

以外の他者にもわかるように、みんなが共有している言葉の規則（言語学や記号論では、こうした共通規則のことをコード＝Codeと読んだりする）や文法に従って話さなければならない。だから、頭の中にとどまっていた状態に比べ、話されるときには、知識＝認識は明瞭になっているわけだし、またあまりに曖昧なままの知識＝認識は言葉で語ることができない（自分ではわかっているつもりだったのに、うまく他人に説明できない）ということになる。

（小柴　大輔『「かく」ということについて』）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題4

次の文章（復習問題3の続きの文章です）に含まれる［　　］に適切な語を、選択肢から選んで書き込みなさい。ただし、一度選んだ選択肢は二度使えません。

選択肢【　いわば　ゆえに　また　つまり　というのも　】

発話の場合には、表情やしぐさといった非言語的な仕方で意味をくみとってもらえる可能性があり、不明瞭で曖昧でひどく簡略化された言葉遣いでも、案外会話は成り立ってしまう。相手の性格や人柄を知っているときにはなおさらだ。例えば、ごく親しい友人同士の会話や親子の間の言葉のやりとりを想起したらわかるだろう。

かくて、書くという段階にいたって知識＝認識を表現し、他者に理解してもらうのに頼れるのは言葉の共通規則だけということになる。いや、むしろ言葉の共通規則だけに頼るからこそ、明確性（自分だけでなくみんなにもわかる）が増す。個人的知識、主観的知識が普遍的、客観的知識へと変貌する。［　　］、文章を書くときに感じるわずらわしさや苦しみは、頭の中にあった独りよがりの思考を、言葉の共通規則に乗せることの苦しみ、困難さということになる。こうした困難さを伴うとはいえ、頭の中で眠っていた知識＝認識、すなわち可能性としてだけ存在していた知識＝認識が、言葉の共通規則を通じて現実に表現され、明確化される。古代哲学の巨人、アリストテレスのことばをかりれば、「デュナミス（可能態）からエネルゲイア（現実態）へ」ということになろうか。

けれども、この短い論考で述べようとしている「かく」ということの特異性は、明確性ということに尽きない。［　　］、「かく」ということのなお一層の特異性とは、「かかれた」ものが自律性をもつということであるからだ。［　　］、文字なり活字なりによって紙の上に記されることで、それを生み出した人間の身体（思考過程や脳を含んだ身体）から独立した実体を獲得する。先に書かれた知識が個人的なものではなく他者にもわかるという意味で客観的だと述べたが、実は主観・意識・

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

思考過程から離れて「物」となったという意味でも「かかれた」ものは客観的である。

こうして「かく」という行為を通じて自律化・客観化されたものは広く他者によって見られたり、鑑賞されたり、批評、批判されたりすることになる。その際に重要なことは、書き手＝筆者の意図とは別に評価されたり、批判されたりすることがあるということである。この意味でも「かかれた」ものは自律性と独立性をもつ。この点、小説や論文だけでなく、絵画や彫刻などの美術作品についても全く同様のことが言える。

かくして、私たちは広く「かく」という行為を通じて自らの知識＝認識を明確化し、[　　　]思考を自律化、客観化することができる。そうしてはじめて気づく自分というものもあろう。つまり、「かく」ということは、[　　　]客観化された自分との対面の場とも言えそうだ。

（小柴　大輔『「かく」ということについて』）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

付録・慣用句集

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

慣用句の全世界一周

チェック	慣用句	読み方	意味
□□□	1 相容れない	アイイレナイ	互いに受け入れられない 二つの立場がかみあわない
□□□	2 愛くるしい	アイクルシイ	たいへんかわいらしい あどけなくてかわいい
□□□	3 相俟って・あいまって	アイマッテ	互いに作用し合って・相乗的に ハイブリッド、シナジー
□□□	4 あえなく	アエナク	いかにももろく・あっけなく
□□□	5 暁・あかつき	アカツキ	望みがかなったとき／夜明け
□□□	6 あくせく・齷齪	アクセク	小さなことや目先のことに追われる こせこせ、せかせかする
□□□	7 あぐらをかく	アグラヲカク	のうのうとする、のんきにかまえる ずうずうしい態度
□□□	8 あげく・挙句・揚げ句	アゲク	おわり・結果・結局のところ 連歌（五七五＋七七＋五七五＋七七＋……と複数名で唱和する詩歌の形態）の最後の「七七」を最後の最後ということで挙句という
□□□	9 あげつらう・論う	アゲツラウ	あれこれ論じる・可否、理非を論じる 小さなことを取り立てて批判する
□□□	10 あこぎ	アコギ	強欲で無慈悲・あくどい
□□□	11 あごで使う	アゴデツカウ	上から目線の威張った態度で人を使う
□□□	12 あごを出す	アゴヲダス	疲れてへたばる
□□□	13 朝まだき	アサマダキ	夜が明け切らないころ・早朝
□□□	14 足が付く	アシガツク	犯行が明らかになる 犯人やその逃走経路がわかる
□□□	15 足が出る	アシガデル	予算オーバー・隠しごとが現れる
□□□	16 足が早い	アシガハヤイ	食べ物がくさりやすい／売れ行きがよい
□□□	17 足元を見る	アシモトヲミル	相手の弱みにつけこむ
□□□	18 あせらかす	アセラカス	おだてる・ほめそやす
□□□	19 あだになる	アダニナル	裏目に出る・逆効果
□□□	20 徒花・空花・あだばな	アダバナ	実をつけず散る花・無駄・季節外れに咲く花
□□□	21 頭が下がる	アタマガサガル	敬服する、感心する
□□□	22 頭ごなし	アタマゴナシ	相手の言い分を聞かず、がみがみ言う・決めつける

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	23 頭をもたげる	アタマヲモタゲル	台頭する・勢力を伸ばす
□□□	24 あて	アテ	見込み・目的・手がかり
□□□	25 油を売る	アブラヲウル	無駄話をして時間をつぶす
□□□	26 あまた	アマタ	たくさん、非常に 引く手あまた＝人気で引っ張りだこ
□□□	27 あまつさえ	アマツサエ	そればかりか・その上に・おまけに
□□□	28 あまねく・遍く	アマネク	広くすみずみまで・普遍的に
□□□	29 あまのじゃく	アマノジャク	人と反対のことをするひねくれもの
□□□	30 あらいざらい	アライザライ	すっかりなにもかも
□□□	31 ありきたり	アリキタリ	ありふれている・普通で面白くない 月並み・陳腐
□□□	32 暗礁に乗り上げる	アンショウニノリアゲル	動きが取れなくなる うまく進行しなくなる
□□□	33 案の定	アンノジョウ	思ったとおりに
□□□	34 案配・塩梅	アンバイ	物事や体のぐあい
□□□	35 いかんともしがたい	イカントモシガタイ	どうすることもできない
□□□	36 息がかかる	イキガカカル	有力者の影響や支援を受ける
□□□	37 いきさつ	イキサツ	物事がそうなった事情や背景･原因･経緯
□□□	38 いきりたつ	イキリタツ	すさまじく怒る・興奮する・猛り立つ
□□□	39 いささか	イササカ	ちょっと、どことなく
□□□	40 いずれ菖蒲か杜若	イズレアヤメカカキツバタ	どちらも優れていて、選択に迷う
□□□	41 居丈高	イタケダカ	威圧的・いきりたつ
□□□	42 いたずらに	イタズラニ	無駄に
□□□	43 板につく	イタニツク	ふさわしくピッタリする・調和する 似つかわしくなる
□□□	44 一笑にふす	イッショウニフス	まともに相手しない
□□□	45 一矢を報いる	イッシヲムクイル	反撃する 大勢や局面を変えるほどではないが 反攻を試みる
□□□	46 一席ぶつ	イッセキブツ	演説する
□□□	47 一席設ける	イッセキモウケル	宴会などの場を設ける
□□□	48 犬と猿	イヌトサル	仲が悪い
□□□	49 意表	イヒョウ	思ってもみないこと・想定してないこと

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	50 慰撫	イブ	なだめる・なぐさめて心をおだやかにする
□□□	51 訝る	イブカル	怪しむ・不審におもう
□□□	52 戒め	イマシメ	注意してさとす・こらしめる・懲戒厳しく禁じる
□□□	53 いやしくも	イヤシクモ	かりそめにも・かりにも
□□□	54 甍	イラカ	屋根がわら
□□□	55 色を失う	イロヲウシナウ	驚いて混乱する・青ざめる・顔色をなくす
□□□	56 色を付ける	イロヲツケル	おまけをつける・値引きして売る
□□□	57 色をなす	イロヲナス	怒り出す・怒って顔色が変わる
□□□	58 曰くいいがたい	イワクイイガタイ	説明しにくい・えもいわれぬ
□□□	59 いわくつき	イワクツキ	議論や話題を呼んだ・込み入った事情がある
□□□	60 いわば	イワバ	たとえてみれば
□□□	61 憂き身をやつす	ウキミヲヤツス	やせるほど熱中する・なりふり構わず夢中になる
□□□	62 浮世	ウキヨ	この世・世俗・世間・つらく生きにくい現世
□□□	63 嘯く・うそぶく	ウソブク	とぼける・大きなことを言う・虚勢をはる
□□□	64 現をぬかす	ウツツヲヌカス	心を奪われ夢中になる
□□□	65 うつろ・虚ろ・空ろ	ウツロ	中身や心がからっぽでぼんやりしている・心ここにあらず
□□□	66 腕に覚えがある	ウデニオボエガアル	腕力や技量に自信がある
□□□	67 腕を買う	ウデヲカウ	技能・実力を認める
□□□	68 疎ましい・うとましい	ウトマシイ	いやだ・好ましくない・厭わしい（いとわしい）
□□□	69 馬が合う	ウマガアウ	気持ちがしっくり合う・意気投合する
□□□	70 倦むことがない	ウムコトガナイ	退屈しない・集中する
□□□	71 恭しい・うやうやしい	ウヤウヤシイ	敬って礼儀正しく振る舞うさま
□□□	72 うろたえる	ウロタエル	あわてふためく・狼狽する どうしてよいかわからない
□□□	73 うろんな	ウロンナ	うさんくさい・怪しく確かでない
□□□	74 襟を正す	エリヲタダス	気持ちを引き締める

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	75	遠慮会釈もない	エンリョエシャクモナイ	てかげんなく
□□□	76	往々にして	オウオウニシテ	しばしば・よくあることだが
□□□	77	往時	オウジ	むかし・当時・過ぎ去った時
□□□	78	往生する	オウジョウスル	死ぬ・死後生まれ変わること じたばたせずあきらめる・困り果てて、まいる
□□□	79	往年	オウネン	むかし・昔日(せきじつ)
□□□	80	概ね	オオムネ	大概・だいたい・概略・あらまし
□□□	81	お先棒を担ぐ	オサキボウヲカツグ	人の手先になる
□□□	82	御座なり	オザナリ	その場しのぎにいいかげんに物事を行う
□□□	83	小田原評定	オダワラヒョウジョウ	長引いて決着がつかない会議
□□□	84	お茶を濁す	オチャヲニゴス	ごまかす
□□□	85	おのがじし	オノガジシ	めいめい・それぞれ・各自
□□□	86	お鉢が回る	オハチガマワル	順番が来る
□□□	87	夥しい・おびただしい	オビタダシイ	とても多い・程度がはなはだしい
□□□	88	御百度を踏む	オヒャクドヲフム	頼みごとで何度も訪ねる
□□□	89	尾鰭をつける	オヒレヲツケル	大げさに言う・事実以外のことが追加される
□□□	90	おぼつかない	オボツカナイ	確かでない・頼りない・はっきりしない
□□□	91	思いなしか	オモイナシカ	気のせいか
□□□	92	おもむろに・徐に	オモムロニ	静かにゆっくり・落ち着いて (「不意に突然に」の意味で使うのは誤り)
□□□	93	おもんぱかる	オモンパカル	配慮する・考慮する・忖度（そんたく）する
□□□	94	折り合いをつける	オリアイヲツケル	妥協する・関係、仲をとりもつ
□□□	95	折り紙付き	オリガミツキ	鑑定書付き・立派で信用できる・成功を保証する
□□□	96	折りにふれて	オリニフレテ	機会ある度に
□□□	97	諧謔	カイギャク	おもしろみ・滑稽・しゃれ・ユーモア
□□□	98	改竄	カイザン	ごまかす・意図的に文面や数値を書き換える
□□□	99	懐柔	カイジュウ	てなずけてだきこむ・従わせる
□□□	100	会心	カイシン	満足する・心にかなう

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	101 掻い撫で・かいなで	カイナデ	表面だけ・通り一遍・平凡で深さがない
□□□	102 垣間見る	カイマミル	うかがう、のぞく
□□□	103 隗より始めよ	カイヨリハジメヨ	遠大な仕事は身近なところからスタートせよ・まず言い出した人から始めよということ cf 隗は中国春秋戦国時代の人
□□□	104 界隈	カイワイ	辺り近所
□□□	105 顔色をうかがう	カオイロヲウカガウ	相手の態度や機嫌を気にする
□□□	106 顔が売れる	カオガウレル	広く知られる・有名になる
□□□	107 顔が利く	カオガキク	有名で便宜を図ってもらえる
□□□	108 顔を立てる	カオヲタテル	相手の名誉や面目を守る
□□□	109 顔をつぶす	カオヲツブス	相手の名誉を傷付ける
□□□	110 画一	カクイツ	おなじようにそろえる・規格化
□□□	111 笠に着る	カサニキル	背後の力を頼んで威張る・虎の威を借る狐
□□□	112 仮借	カシャク	ゆるす・見逃す・慈悲
□□□	113 呵責	カシャク	きびしくせめる・せめさいなむ (例)良心の呵責に耐えられない
□□□	114 固唾を呑む	カタズヲノム	緊張や心配で息をこらす・息をのむ
□□□	115 肩肘を張る	カタヒジヲハル	堅苦しい態度を取る
□□□	116 片棒を担ぐ	カタボウヲカツグ	仕事に協力する・二人で担ぐ籠（かご）の一端を担う
□□□	117 肩を入れる	カタヲイレル	加勢する・ひいきにして支援する
□□□	118 肩を持つ	カタヲモツ	味方になって助ける 争っているうちの一方をひいきする
□□□	119 喝破する	カッパスル	大声で他の説を打ち破る・真実を見抜く
□□□	120 活を入れる	カツヲイレル	強い調子で元気付ける（「喝を入れる」は誤り 「喝」は禅宗で、しかりや励ましの声）
□□□	121 合点	ガテン・ガッテン	納得する・了解する・承知する
□□□	122 予て・かねて	カネテ	前々から
□□□	123 兜を脱ぐ	カブトヲヌグ	降参する
□□□	124 かまける	カマケル	一つのことに心をかける 一つのことに気を取られる
□□□	125 喧しい・かまびすしい	カマビスシイ	さわがしい・喧騒(けんそう)

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	126 鎌をかける	カマヲカケル	相手に本当のことを言わせようと、うまく誘い込む
□□□	127 搦め手	カラメテ	相手の弱点をつく 城の裏や陣地の裏から攻める軍勢
□□□	128 かろうじて	カロウジテ	ようやく・辛くも・なんとか
□□□	129 閑却する	カンキャクスル	打ち捨てておく・なおざりにする・放っておく
□□□	130 閑古鳥が鳴く	カンコドリガナク	人の出入りが少ない
□□□	131 間然する所がない	カンゼンスルトコロガナイ	とやかく批判するところがない 「間然」は欠点を見つけて非難すること
□□□	132 噛んで含める	カンデフクメル	ていねいに言い聞かす
□□□	133 看破する	カンパスル	見抜く
□□□	134 還暦	カンレキ	六十歳のこと
□□□	135 気が置けない	キガオケナイ	気楽で肩肘はらない・うちとけた関係 遠慮がいらない関係
□□□	136 気がさす	キガサス	なんとなく後ろめたい・気がとがめる
□□□	137 気がせく	キガセク	焦る
□□□	138 気がめいる	キガメイル	ゆううつ
□□□	139 兆し・きざし	キザシ	前兆・まえぶれ・予兆
□□□	140 期して	キシテ	決意して
□□□	141 期せずして	キセズシテ	思いがけなく・偶然
□□□	142 きつねとたぬき	キツネトタヌキ	くせもの同士
□□□	143 踵を返す	キビスヲカエス	引き返す
□□□	144 踵を接する	キビスヲセッスル	つぎつぎ続く
□□□	145 気脈を通じる	キミャクヲツウジル	密かに連絡を取る
□□□	146 肝に銘ずる	キモニメイズル	心に留めて忘れない
□□□	147 杞憂	キユウ	取り越し苦労・する必要のない心配
□□□	148 虚をつく	キョヲツク	相手の油断をつく
□□□	149 気を持たす	キヲモタス	期待させる
□□□	150 気をもむ	キヲモム	心配してやきもきする
□□□	151 琴線に触れる	キンセンニフレル	心にひびく、感動する
□□□	152 寓話	グウワ	教訓話・たとえ話・動物を擬人化したストーリー (例)イソップ物語

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	153 釘をさす	クギヲサス	はっきりと念を押す
□□□	154 くだを巻く	クダヲマク	くどくどうるさく言う
□□□	155 口が重い	クチガオモイ	あまり話をしない
□□□	156 口が滑る	クチガスベル	うっかり言う
□□□	157 口が干上がる	クチガヒアガル	暮らしが成り立たない
□□□	158 口車に乗る	クチグルマニノル	巧みな言葉にだまされる
□□□	159 口の端に上る	クチノハニノボル	うわさになる
□□□	160 口を利く	クチヲキク	間に入って関係をとりもつ
□□□	161 口を切る	クチヲキル	初めに発言する
□□□	162 轡を並べる	クツワヲナラベル	一緒に進む
□□□	163 首が飛ぶ	クビガトブ	職を辞めさせられる
□□□	164 首が回らない	クビガマワラナイ	金銭のやりくりに困る・借金が多い
□□□	165 首をひねる	クビヲヒネル	疑問に思う
□□□	166 くめどもつきない	クメドモツキナイ	無尽蔵にある・はてしなくたくさんある
□□□	167 警句	ケイク	巧みに人生や社会の真理をついた短い表現 教訓・箴言(しんげん)・アフォリズム
□□□	168 蛍雪の功	ケイセツノコウ	苦労して学問した成果
□□□	169 けがの功名	ケガノコウミョウ	失敗したことが逆に手柄になる
□□□	170 逆鱗に触れる	ゲキリンニフレル	激しく怒らせる
□□□	171 怪訝・けげん	ケゲン	疑わしそうに 事情や理由がわからず不思議そうに
□□□	172 蓋し・けだし	ケダシ	私が思うに・おそらく
□□□	173 下駄を預ける	ゲタヲアズケル	相手に任せる・なにもせず傍観する
□□□	174 健気・けなげ	ケナゲ	しっかりしてすこやか・殊勝 年少者や弱者が努力するさま
□□□	175 下馬評	ゲバヒョウ	世間のうわさ・第三者がする批評
□□□	176 故意	コイ	わざと・意図的に
□□□	177 高じる	コウジル	はなはだしくなる・程度が上昇する
□□□	178 後塵を拝する	コウジンヲハイスル	人に先んじられる・権勢ある人に付き従う
□□□	179 業を煮やす	ゴウヲニヤス	はかどらず、腹を立てる
□□□	180 黒白を争う	コクビャクヲアラソウ	ことの是非、善悪をはっきりさせる
□□□	181 黒白を付ける	コクビャクヲツケル	よい悪いをはっきりさせる
□□□	182 沽券	コケン	人間の価値・品位・体面

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	183 糊口をしのぐ	ココウヲシノグ	ほそぼそと暮らしをたてる・やっとのことで生活する 口を糊(のり)する＝かゆをすする
□□□	184 虎口を脱す	ココウヲダッス	危険を逃れる
□□□	185 心付け	ココロヅケ	祝儀・お礼・チップ
□□□	186 腰を折る	コシヲオル	途中で妨げる (例)話の腰を折る
□□□	187 挙って・こぞって	コゾッテ	全部集まって・大挙して・大勢で・一人残らず
□□□	188 ご多分にもれず	ゴタブンニモレズ	世間と同じに・多くの意見と同じに
□□□	189 骨髄に徹す	コツズイニテッス	深く心の底にしみこむ
□□□	190 糊塗する	コトスル	ごまかす・一時しのぎにうわべだけつくろう
□□□	191 寿ぐ・言祝ぐ・ことほぐ	コトホグ	ことばで祝福する
□□□	192 胡麻をする	ゴマヲスル	自分の利益実現のために、相手をもちあげる・ひとにおもねり、こびへつらう
□□□	193 殺し文句	コロシモンク	相手の心を捉えてしまう言葉
□□□	194 采配を振る	サイハイヲフル	指揮する・指図する
□□□	195 さかしら	サカシラ	利口ぶった・こざかしい
□□□	196 さじを投げる	サジヲナゲル	あきらめる・見放す
□□□	197 さすらう	サスラウ	さまよい歩く・漂泊する・流浪する
□□□	198 左遷	サセン	官位や地位を下げられる
□□□	199 さぞ	サゾ	どんなにかまあ・さぞかし・さぞや・さだめし
□□□	200 鯖を読む	サバヲヨム	数や年齢をごまかす
□□□	201 恣意	シイ	思い込み・思うまま・任意・気まま・ほしいまま
□□□	202 潮時	シオドキ	ちょうどよい時
□□□	203 獅子身中の虫	シシシンチュウノムシ	味方でありながら害を加えるもの
□□□	204 孜々として	シシトシテ	たゆまず努力して・熱心に努力するさま
□□□	205 辞世の句	ジセイノク	死にのぞんで詠む詩歌
□□□	206 舌が回る	シタガマワル	よどみなくしゃべる・流暢に話す
□□□	207 下にも置かぬ	シタニモオカヌ	人を丁寧に扱う

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	208 舌を巻く	シタヲマク	ひどく感心して驚く
□□□	209 地団駄を踏む	ジダンダヲフム	足をばたばたしてくやしがる
□□□	210 執拗な	シツヨウナ	しつこい、徹底した
□□□	211 実力伯仲	ジツリョクハクチュウ	優劣の差がないこと
□□□	212 地でいく	ジデイク	ありのままふるまう・実践する
□□□	213 しどけない	シドケナイ	しまりがない・髪や服装が乱れてだらしない
□□□	214 しどろ	シドロ	乱れる・はっきりしない しどろもどろ＝話の内容が乱れてはっきりしない
□□□	215 鎬を削る	シノギヲケズル	激しく争う
□□□	216 しびれを切らす	シビレヲキラス	待ち遠しい
□□□	217 奢侈	シャシ	ぜいたく・度を越してぜいたく 身分不相応な暮らし
□□□	218 弱冠	ジャッカン	年が若い・男子二十歳
□□□	219 若干	ジャッカン	わずかに・いくらか少し
□□□	220 終日	シュウジツ	一日中・ひねもす・朝から晩まで
□□□	221 終生	シュウセイ	死ぬときまで・一生
□□□	222 終夜	シュウヤ	一晩中・よもすがら・夜通し
□□□	223 雌雄を決する	シユウヲケッスル	勝負をつける
□□□	224 殊勝	シュショウ	特別すぐれている・感心だ・健気
□□□	225 出藍の誉れ	シュツランノホマレ	弟子が先生に勝るようになる
□□□	226 首尾よく	シュビヨク	うまいぐあいに・都合よく
□□□	227 逡巡	シュンジュン	しりごみする・ためらう・躊躇する・二の足を踏む
□□□	228 常軌を逸する	ジョウキヲイッスル	普通でないことをする
□□□	229 小康状態	ショウコウジョウタイ	危険な状態が少しおさまっている
□□□	230 精進	ショウジン	一生懸命に努力する・一つのことにはげむ・仏道の修業をする
□□□	231 常套	ジョウトウ	ありふれた・きまりきった 昔から変わらないありきたりの （例）常套句・常套手段
□□□	232 焦眉の急	ショウビノキュウ	事態が切迫している・危険が身にせまっている
□□□	233 触手を伸ばす	ショクシュヲノバス	徐々に進出しようとする・相手に近づこうとする
□□□	234 所詮	ショセン	つまるところ、結局

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	235 尻に火がつく	シリニヒガツク	事態が差し迫ってあわてる
□□□	236 尻をたたく	シリヲタタク	やる気にさせる・叱咤激励する
□□□	237 箴言	シンゲン	教訓・格言・警句・アフォリズム
□□□	238 森厳	シンゲン	おごそかでいかめしい・居ずまいや襟を正す感じ
□□□	239 人口に膾炙す	ジンコウニカイシャス	広く世間の話題になる・知れ渡る
□□□	240 人後に落ちない	ジンゴニオチナイ	ひけをとらない
□□□	241 辛酸をなめる	シンサンヲナメル	ひどくつらいめにあう
□□□	242 尋常ではない	ジンジョウデハナイ	普通ではない
□□□	243 身上	シンジョウ	本来のとりえ、本領、値打ち 自分のこと、身の上
□□□	244 水魚の交わり	スイギョノマジワリ	親密な交際
□□□	245 杜撰	ズサン	文章や仕事に誤りが多い・手抜き
□□□	246 鈴なり	スズナリ	大勢群がっている
□□□	247 雀の涙	スズメノナミダ	ごくわずかなたとえ
□□□	248 砂を噛むような	スナヲカムヨウナ	味気ない・無味乾燥
□□□	249 図に乗る	ズニノル	いい気になる・思い通りになると考えてつけあがる
□□□	250 隅に置けない	スミニオケナイ	案外世間を知っていて、あるいは技能や知識があり、油断できない
□□□	251 すれっからし	スレッカラシ	世慣れてずるがしこい・世間ずれしていて悪賢い
□□□	252 寸鉄人を殺す	スンテツヒトヲコロス	警句や短い言葉で相手の急所を突く
□□□	253 正鵠を射る	セイコクヲイル	核心を突く・的を射ると同義
□□□	254 精髄	セイズイ	本質・最重要部分・エッセンス・エスプリ
□□□	255 精通	セイツウ	詳しく知っている・通暁(つうぎょう)
□□□	256 赤裸々	セキララ	ありのまま・率直に・むきだし
□□□	257 切に	セツニ	ひたすら・心から
□□□	258 先鞭をつける	センベンヲツケル	他に先駆けて着手する
□□□	259 相好をくずす	ソウゴウヲクズス	大喜びでニコニコする
□□□	260 双璧	ソウヘキ	二人の優れた人物・ともに優れた二つのもの（「双壁」は誤り）
□□□	261 即座に	ソクザニ	その場ですぐに・ただちに
□□□	262 そしり・誹り・謗り	ソシリ	非難・批判

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	263 そつがない	ソツガナイ	手落ちがない・手抜かりや無駄がない
□□□	264 ぞんざい	ゾンザイ	扱いがあらっぽくていいかげん 丁寧でない・がさつ
□□□	265 忖度	ソンタク	相手の気持ちをおしはかる
□□□	266 対岸の火事	タイガンノカジ	自分とは関わりのない出来事
□□□	267 高見の見物	タカミノケンブツ	安全な場所から傍観
□□□	268 高をくくる	タカヲククル	たいしたことはないとみくびる、あなどる
□□□	269 他山の石	タザンノイシ	自分のために役立つもの つまらないものでも自分の反省になること
□□□	270 たしなめる	タシナメル	軽くしかる・悪いところを直すように注意する
□□□	271 だしにする	ダシニスル	目的のために利用する
□□□	272 たじろぐ	タジログ	相手に圧倒されてひるむ
□□□	273 蛇足	ダソク	よけいなもの・なくてよいもの
□□□	274 たたずむ	タタズム	しばらく立つ・しばし立ち止まる
□□□	275 立つ瀬がない	タツセガナイ	自分の立場や面目がない
□□□	276 達筆	タッピツ	字や文章が上手なこと
□□□	277 脱帽	ダツボウ	敬服する・感服する・おそれいる
□□□	278 立て板に水	タテイタニミズ	よどみなくすらすらとしゃべる・流暢
□□□	279 棚に上げる	タナニアゲル	自分のことはさておいて、言及しない
□□□	280 袂をわかつ	タモトヲワカツ	別れる・人との縁を切る
□□□	281 たわいない	タワイナイ	取るに足らない・子供のよう 酔っぱらって正体がない
□□□	282 啖呵をきる	タンカヲキル	威勢よくまくしたてる
□□□	283 断腸の思い	ダンチョウノオモイ	非常に強い悲しみや苦しみ
□□□	284 竹馬の友	チクバノトモ	おさななじみ
□□□	285 地歩を固める	チホヲカタメル	地位や自分の活動場所を確かなものにする
□□□	286 躊躇	チュウチョ	二の足を踏む・ためらう・逡巡する
□□□	287 提灯に釣り鐘	チョウチンニツリガネ	つりあわないもののたとえ
□□□	288 徴表	チョウヒョウ	しるし・めやす・他と区別し特徴づけるもの・メルクマール

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	289 通暁	ツウギョウ	ある事柄をすみずみまでよく知っている・夜通し
□□□	290 つかぬこと	ツカヌコト	突飛なこと・だしぬけ それまでの話とはかかわりのないこと
□□□	291 月並み	ツキナミ	ありきたり・毎月定期的で変わらぬこと
□□□	292 つっけんどん	ツッケンドン	冷淡でとげとげしい
□□□	293 慎ましい	ツツマシイ	ひかえめで物静か 暮らしぶりがぜいたくではなく質素
□□□	294 つとに	ツトニ	早くから・幼少から・早朝から・殊(こと)に
□□□	295 募る	ツノル	広く呼びかけて集める・激しくなる （例）風雨がつのる
□□□	296 つぶさに・具に	ツブサニ	細かいところまで詳しく・具体的に
□□□	297 詳らか	ツマビラカ	詳しい・ことこまかに細部まで明らか
□□□	298 爪を研ぐ	ツメヲトグ	野心を抱き、チャンスをねらう
□□□	299 面魂	ツラダマシイ	強い精神力が顔に現れている
□□□	300 諦念	テイネン	あきらめ・物事の本質を悟る
□□□	301 手がこむ	テガコム	細工や技巧が細かい
□□□	302 手がない	テガナイ	方法がない
□□□	303 手ぐすね引く	テグスネヒク	十分に用意して待ち構える
□□□	304 手塩にかける	テシオニカケル	大切に育てる
□□□	305 出たとこ勝負	デタトコショウブ	いきあたりばったり
□□□	306 手玉に取る	テダマニトル	もてあそぶ・相手を思うように操る
□□□	307 手につかない	テニツカナイ	気持ちが他のものに奪われて集中できない
□□□	308 手に乗る	テニノル	だまされて思うままになる
□□□	309 手のひらを返す	テノヒラヲカエス	急に態度を変える
□□□	310 手持ち無沙汰	テモチブサタ	退屈・暇をもてあます・することがない・所在ない
□□□	311 手も無く	テモナク	簡単に・そのまま
□□□	312 手を切る	テヲキル	関係を絶つ
□□□	313 手を染める	テヲソメル	何かをしはじめる
□□□	314 手を焼く	テヲヤク	もてあます・てこずる・対処に苦労する

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	315 等閑にふす	トウカンニフス	いい加減に放っておく・「なおざり」とも読む
□□□	316 桃源郷	トウゲンキョウ	平和な別天地・世俗を離れた別世界（陶淵明の詩から）
□□□	317 湯治	トウジ	温泉につかって病気や怪我の療養をする
□□□	318 堂々巡り	ドウドウメグリ	同じ議論を繰り返して果てしがない
□□□	319 堂に入る	ドウニイル	技術や学問がよく身についている 物事に習熟している
□□□	320 登竜門	トウリュウモン	出世の糸口・鯉がここから竜になる
□□□	321 通り一遍	トオリイッペン	うわべだけ
□□□	322 とかく	トカク	ともすれば・よくあることだが あれやこれや・ともかくも
□□□	323 咎める・とがめる	トガメル	誤りや罪を非難する
□□□	324 度肝を抜く	ドギモヲヌク	びっくりさせる
□□□	325 毒気にあてられる	ドクケニアテラレル	相手に圧倒されて呆然となる
□□□	326 毒気を抜かれる	ドクケヲヌカレル	勢いをなくしておとなしくなる
□□□	327 とこしえ	トコシエ	永遠・どこまでもずっと続く
□□□	328 とどのつまり	トドノツマリ	結局のところ
□□□	329 ともあれ	トモアレ	それはさておき・ところで
□□□	330 ともすれば	トモスレバ	時には、折りにふれて、ややもすれば
□□□	331 虎の子	トラノコ	大切にして手放さないもの
□□□	332 度を失う	ドヲウシナウ	取り乱す
□□□	333 とんきょうな	トンキョウナ	調子外れな・その場にそぐわない
□□□	334 蔑ろ・ないがしろ	ナイガシロ	軽く扱う・あるのにないかのような軽い扱い
□□□	335 ない袖はふれない	ナイソデハフレナイ	ないものはどうしようもない
□□□	336 ないまぜにする	ナイマゼニスル	混ぜ合わせる・より合わせる
□□□	337 なおざり	ナオザリ	注意を払わない・いい加減・「等閑」とも書く
□□□	338 鳴かず飛ばず	ナカズトバズ	人目に付く活躍がない
□□□	339 流れをくむ	ナガレヲクム	ある系統に属する
□□□	340 なかんずく	ナカンズク	とりわけて・なかでも
□□□	341 梨のつぶて	ナシノツブテ	行ったきりなんの音沙汰もない
□□□	342 鉈を振るう	ナタヲフルウ	思い切った整理をする
□□□	343 なまくら・鈍	ナマクラ	刃物の刃先がにぶる・なまける

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	344 ならわし	ナラワシ	習慣、慣習、儀礼
□□□	345 煮え切らない	ニエキラナイ	態度がはっきりしない
□□□	346 似て非なる	ニテヒナル	外見は似ているが内実は違う
□□□	347 二の足を踏む	ニノアシヲフム	ためらう・躊躇する
□□□	348 二番煎じ	ニバンセンジ	焼き直し・新しみのないものまね
□□□	349 二枚舌を使う	ニマイジタヲツカウ	矛盾したことを言う・嘘を言う
□□□	350 俄か・にわか	ニワカ	急に、突然に・すぐに
□□□	351 ぬかずく	ヌカズク	ひざまずく・拝礼する
□□□	352 糠に釘	ヌカニクギ	手ごたえや効き目がない
□□□	353 濡れ衣を着せる	ヌレギヌヲキセル	無実の罪をおわせる
□□□	354 猫の額	ネコノヒタイ	土地が狭い
□□□	355 猫の目のよう	ネコノメノヨウ	めまぐるしく変わる
□□□	356 猫も杓子も	ネコモシャクシモ	みんな
□□□	357 猫をかぶる	ネコヲカブル	本性を隠し、おとなしく見せる
□□□	358 音をあげる	ネヲアゲル	辛さに耐えられない・弱音を吐く
□□□	359 喉から手が出る	ノドカラテガデル	とてもほしい・垂涎（すいぜん）
□□□	360 輩出	ハイシュツ	優れた人物が続々と世に出ること
□□□	361 歯が浮く	ハガウク	軽薄なお世辞などを聞いて不快になる・きざっぽくていやだ
□□□	362 拍車をかける	ハクシャヲカケル	一段と進行を早める
□□□	363 暴露	バクロ	明るみに出す
□□□	364 畑違い	ハタケチガイ	専門領域が異なる
□□□	365 はたして・はたせるかな	ハタシテ・ハタセルカナ	思っていたとおりに・案の定
□□□	366 ばつが悪い	バツガワルイ	恥ずかしい思いをする・きまりがわるい
□□□	367 破天荒	ハテンコウ	型破り、未曾有、前代未聞
□□□	368 鼻白む	ハナジロム	気後れして、おじける・興ざめした顔をする
□□□	369 鼻であしらう	ハナデアシラウ	相手を軽く見ていいかげんに扱う
□□□	370 鼻にかける	ハナニカケル	自慢する・得意になる
□□□	371 鼻につく	ハナニツク	飽きて不快になる・嫌みに感じられる
□□□	372 鼻の下が長い	ハナノシタガナガイ	女に甘くすぐ誘惑に乗る
□□□	373 鼻持ちならない	ハナモチナラナイ	気に食わない、耐えられない・がまんならない

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	374 花も実もある	ハナモミモアル	名実ともにそなわる
□□□	375 鼻をあかす	ハナヲアカス	出し抜いてびっくりさせる
□□□	376 歯に衣着せぬ	ハニキヌキセヌ	ずけずけ物を言う・遠慮のないものいい
□□□	377 羽を伸ばす	ハネヲノバス	のびのびする
□□□	378 幅を利かす	ハバヲキカス	勢力を張る
□□□	379 羽振りがいい	ハブリガイイ	金回りが良い
□□□	380 羽目を外す	ハメヲハズス	興に乗りすぎる・調子に乗りすぎて度を越す
□□□	381 早手回しに	ハヤテマワシニ	先回りする・早々に手配する
□□□	382 腹が据わる	ハラガスワル	びくびくしないで落ち着いている
□□□	383 腹に据えかねる	ハラニスエカネル	我慢できない
□□□	384 腫れ物にさわる	ハレモノニサワル	おそるおそる扱う
□□□	385 判で押したよう	ハンデオシタヨウ	同じ事の繰り返し・紋切り型・ステレオタイプ
□□□	386 彼岸	ヒガン	対岸・向こう岸・悟りの境地・あの世
□□□	387 引き合いに出して	ヒキアイニダシテ	例証に上げて
□□□	388 引きも切らず	ヒキモキラズ	絶え間なく
□□□	389 卑下する	ヒゲスル	へりくだる・いやしむ
□□□	390 膝を打つ	ヒザヲウツ	何かに気付く、感心する
□□□	391 膝を交える	ヒザヲマジエル	うちとけて話し合う
□□□	392 ひそみにならう	ヒソミニナラウ	他人をまねる・模倣する
□□□	393 額に汗する	ヒタイニアセスル	一生懸命働く
□□□	394 ひたむき	ヒタムキ	それだけに打ち込む・一つの事に心を向ける
□□□	395 左うちわ	ヒダリウチワ	楽して暮らす
□□□	396 筆頭	ヒットウ	代表・先頭を行くもの
□□□	397 一泡吹かせる	ヒトアワフカセル	驚き慌てさせる
□□□	398 ひとえに	ヒトエニ	もっぱら（専ら）・ただそれだけ
□□□	399 一際	ヒトキワ	よりいっそう
□□□	400 一筋縄ではいかない	ヒトスジナワデハイカナイ	普通の手段ではうまくいかない
□□□	401 一肌脱ぐ	ヒトハダヌグ	発奮して助力する
□□□	402 人目をはばかる	ヒトメヲハバカル	人に見られるのを避ける
□□□	403 人を食う	ヒトヲクウ	馬鹿にする・みくびる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	404	ひねもす・終日	ヒネモス	怪獣の名前ではない。「一日中」の意
□□□	405	日の出の勢い	ヒノデノイキオイ	勢いが盛ん
□□□	406	病臥	ビョウガ	病気で床にふせる、療養する
□□□	407	ひるむ	ヒルム	気力がくじける
□□□	408	火を付ける	ヒヲツケル	きっかけをつくる
□□□	409	風貌	フウボウ	容姿・見た目・外見・とくに雰囲気をもった外見
□□□	410	不覚を取る	フカクヲトル	油断してしくじる
□□□	411	分がない	ブガナイ	勝ち目がない
□□□	412	物色	ブッショク	適当なものをさがす
□□□	413	降ってわいた	フッテワイタ	思いがけず、突然
□□□	414	懐が寒い	フトコロガサムイ	所持金が少ない
□□□	415	ふとどき	フトドキ	けしからぬこと・心や配慮がいきとどいていない
□□□	416	腑に落ちない	フニオチナイ	納得いかない
□□□	417	船を漕ぐ	フネヲコグ	こっくりこっくり居眠りをする
□□□	418	篩にかける	フルイニカケル	精選する・吟味して選ぶ
□□□	419	ふんだんに	フンダンニ	ありあまるほどたくさん
□□□	420	閉口	ヘイコウ	困り果てる・手におえない
□□□	421	辟易	ヘキエキ	しりごみする・閉口する・うんざり
□□□	422	僻地	ヘキチ	はずれ・遠方・辺境
□□□	423	へそで茶を沸かす	ヘソデチャヲワカス	ひどくおかしくてたまらない／ばかばかしいこと
□□□	424	へそを曲げる	ヘソヲマゲル	機嫌をそこねて、すねる
□□□	425	棒に振る	ボウニフル	無駄にする
□□□	426	矛を収める	ホコヲオサメル	争いを止める
□□□	427	蓬莱	ホウライ	仙人が住む神聖な山・霊峰
□□□	428	臍をかむ	ホゾヲカム	悔しい思いをする・後悔する
□□□	429	発心する	ホッシンスル	出家する・仏教へ心を動かす
□□□	430	骨を埋める	ホネヲウメル	その土地で死ぬ・一つのことに生涯をささげる
□□□	431	翻案	ホンアン	古典や前作をアレンジする・換骨奪胎（かんこつだったい）
□□□	432	本意	ホンイ	本来の意図
□□□	433	枚挙にいとまがない	マイキョニイトマガナイ	数えられないほどたくさんある

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	434 まぎれもない	マギレモナイ	はっきりして間違いない
□□□	435 まことしやかに	マコトシヤカニ	いかにももっともらしく
□□□	436 まざまざと	マザマザト	ありありと・はっきりと
□□□	437 間尺に合わぬ	マシャクニアワヌ	損になる・わりにあわない
□□□	438 まつわる	マツワル	関連する
□□□	439 間々	ママ	ときどき
□□□	440 眉に唾をつける	マユニツバヲツケル	だまされないように用心する
□□□	441 見限る	ミカギル	あきらめる
□□□	442 見かねる	ミカネル	見ていられない
□□□	443 身が持たない	ミガモタナイ	健康を保持できない
□□□	444 身から出た錆	ミカラデタサビ	自分から招いた災難
□□□	445 見切りをつける	ミキリヲツケル	見込みがないと判断する
□□□	446 みくびる	ミクビル	あなどる・見くだす
□□□	447 御輿を上げる	ミコシヲアゲル	物事に取り掛かる
□□□	448 水に流す	ミズニナガス	何事もなかったことにする
□□□	449 水物	ミズモノ	成功するかどうかあてにならないもの・予想の難しいもの
□□□	450 水を差す	ミズヲサス	邪魔をする・水をかけるともいう
□□□	451 水を向ける	ミズヲムケル	誘いをかける・話題をふる
□□□	452 味噌をつける	ミソヲツケル	失敗する
□□□	453 みだりに	ミダリニ	好き勝手に・無闇に・故なく
□□□	454 三日にあげず	ミッカニアゲズ	間をおかず
□□□	455 身に余る	ミニアマル	自分に十分すぎる、不相応である
□□□	456 身にしみる	ミニシミル	しみじみ感じる
□□□	457 身につまされる	ミニツマサレル	人事でなく感じられる
□□□	458 身二つになる	ミフタツニナル	出産する
□□□	459 耳をそろえる	ミミヲソロエル	金額や数をきっかり整える
□□□	460 身も蓋もない	ミモフタモナイ	露骨過ぎて風情がない
□□□	461 身も世もない	ミモヨモナイ	余裕がない・取り乱したさま
□□□	462 脈がある	ミャクガアル	見込みがある
□□□	463 見る影もない	ミルカゲモナイ	みすぼらしく惨めなさま
□□□	464 身を固める	ミヲカタメル	定職に就く・結婚する
□□□	465 身を焦がす	ミヲコガス	恋に身もだえる
□□□	466 身を粉にする	ミヲコニスル	苦労を惜しまないで努力する

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	467 身をやつす	ミヲヤツス	みすぼらしい格好をする やつれ、やせるほどなにかに熱中する
□□□	468 向こうに回す	ムコウニマワス	対抗する
□□□	469 虫がいい	ムシガイイ	あつかましい・勝手
□□□	470 虫が知らせる	ムシガシラセル	なんとなく予感がする
□□□	471 虫が好かない	ムシガスカナイ	なんとなく気にくわない
□□□	472 虫の知らせ	ムシノシラセ	なんとなく予感がする
□□□	473 虫も殺さぬ	ムシモコロサヌ	やさしくて温和
□□□	474 無尽蔵	ムジンゾウ	きりなくたくさんある
□□□	475 胸が騒ぐ	ムネガサワグ	気持ちが落ち着かない
□□□	476 胸を焦がす	ムネヲコガス	夢中になる・恋慕う
□□□	477 胸をなで下ろす	ムネヲナデオロス	安心する
□□□	478 無用の長物	ムヨウノチョウブツ	役に立たない
□□□	479 名状しがたい	メイジョウシガタイ	なんとも表現しようのない
□□□	480 目が利く	メガキク	物事を見分ける力がある
□□□	481 目頭が熱くなる	メガシラガアツクナル	感動して涙をもよおす
□□□	482 目がない	メガナイ	好きである
□□□	483 目から鼻に抜ける	メカラハナニヌケル	非常に賢い
□□□	484 目くじらを立てる	メクジラヲタテル	ささいな欠点にとやかく言う
□□□	485 めどがたつ	メドガタツ	見通しがはっきりする
□□□	486 目に余る	メニアマル	見過ごせないほどひどい
□□□	487 目の上のたんこぶ	メノウエノタンコブ	邪魔な存在
□□□	488 目の黒いうち	メノクロイウチ	生きている間
□□□	489 目鼻がつく	メハナガツク	だいたいできあがる
□□□	490 目星がつく	メボシガツク	見当がつく
□□□	491 目をかける	メヲカケル	特別に面倒を見る
□□□	492 目を皿にする	メヲサラニスル	探し物をするときの比喩
□□□	493 目をつぶる	メヲツブル	見逃してやる
□□□	494 目を細める	メヲホソメル	大変嬉しそうな顔つき
□□□	495 毛頭ない	モウトウナイ	少しもない
□□□	496 餅屋は餅屋	モチヤハモチヤ	何事も専門家にまかすのがよい
□□□	497 持って回る	モッテマワル	遠回しに言う・婉曲にいう
□□□	498 もとより	モトヨリ	そもそも・はじめから

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	499 ものいり	モノイリ	費用がかかる
□□□	500 ものおじ	モノオジ	びくびくする
□□□	501 もののふ	モノノフ	武士
□□□	502 物々しい	モノモノシイ	大袈裟(おおげさ)な・いかめしい
□□□	503 ものわかれ	モノワカレ	意見が合わない
□□□	504 焼きが回る	ヤキガマワル	おとろえ、にぶくなる
□□□	505 柳に風	ヤナギニカゼ	うまく受け流す・あしらう
□□□	506 やにわに	ヤニワニ	突然・急に・いきなり
□□□	507 薮から棒	ヤブカラボウ	唐突で思いがけない、寝耳に水
□□□	508 山が見える	ヤマガミエル	先の見通しがつく
□□□	509 やましい	ヤマシイ	うしろめたい
□□□	510 山を張る	ヤマヲハル	幸運をあてにしてことを行う
□□□	511 槍玉にあげる	ヤリダマニアゲル	選び出して攻撃、非難する
□□□	512 所以・ゆえん	ユエン	理由・いわれ
□□□	513 ゆかり	ユカリ	えにし・関係
□□□	514 ゆくりなく	ユクリナク	突然に、不用意に、思いがけず
□□□	515 余韻	ヨイン	余情・あとまでのこる感覚
□□□	516 要領を得ない	ヨウリョウヲエナイ	とらえどころがない
□□□	517 横車を押す	ヨコグルマヲオス	無理を通す
□□□	518 横やりを入れる	ヨコヤリヲイレル	第三者が干渉する
□□□	519 よすが	ヨスガ	ゆかり・たより・機縁・手がかり
□□□	520 よどみなく	ヨドミナク	つかえることなく
□□□	521 余念がない	ヨネンガナイ	ひとつのことにはげんでいる
□□□	522 よもすがら・終夜	ヨモスガラ	一晩中
□□□	523 よもやま	ヨモヤマ	いろいろ・世間
□□□	524 夜を日に継ぐ	ヨヲヒニツグ	昼も夜も休まず続ける
□□□	525 烙印を押される	ラクインヲオサレル	消せない汚名を着せられる
□□□	526 埒があかない	ラチガアカナイ	はかどらない・きまりがつかない
□□□	527 爛漫・らんまん	ランマン	満ち溢れて盛ん
□□□	528 俚諺	リゲン	民間でいいならわされてきたことわざ
□□□	529 律義	リチギ	まじめでいいかげんでない
□□□	530 理不尽	リフジン	道理や理屈にあわない
□□□	531 霊験あらたかな	レイケンアラタカナ	神仏の力や利益がはっきり現れる
□□□	532 路頭に迷う	ロトウニマヨウ	生活に困る

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	533 呂律が回らない	ロレツガマワラナイ	言葉がはっきりしない
□□□	534 我が世の春	ワガヨノハル	最盛期・絶頂時期・旺盛な時期
□□□	535 わずらわしい	ワズラワシイ	めんどうくさい
□□□	536 渡りに船	ワタリニフネ	都合のよいことが起こり、ことが進む
□□□	537 渡りをつける	ワタリヲツケル	関係をつける・交渉をする
□□□	538 割を食う	ワリヲクウ	損をこうむる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

付録・四字熟語集

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四字熟語の銀河系

チェック		四字熟語	読み方	意味
□□□	1	愛別離苦	アイベツリク	愛する者と別れる苦しみ
□□□	2	曖昧模糊	アイマイモコ	ぼんやりしてはっきりしない
□□□	3	青息吐息	アオイキトイキ	悩み苦しみ、ため息をつく
□□□	4	悪事千里	アクジセンリ	悪い行いや評判はたちまち遠くまで広がる
□□□	5	悪戦苦闘	アクセンクトウ	不利な状況下で必死に努力する
□□□	6	悪口雑言	アッコウゾウゴン	悪口を言う
□□□	7	阿鼻叫喚	アビキョウカン	地獄のような状況でわめきさけぶ
□□□	8	安心立命	アンシンリツメイ アンジンリュウミョウ	こころ安らかで何事にも動揺しない
□□□	9	暗中模索	アンチュウモサク	手探りして、探し求める
□□□	10	安寧秩序	アンネイチツジョ	公共の安全と秩序がしっかり守られている
□□□	11	唯々諾々	イイダクダク	相手の言いなりになって従う
□□□	12	意気軒昂	イキケンコウ	元気で意気込み盛ん・意気揚々（イキヨウヨウ）とほぼ同義
□□□	13	意気消沈	イキショウチン	元気がなくなる・意気阻喪（イキソソウ）とほぼ同義
□□□	14	意気投合	イキトウゴウ	気持ちや考え方が合う・肝胆相照（カンタンソウショウ）とほぼ同義
□□□	15	異口同音	イクドウオン	多くの人が口をそろえて同じことを言う
□□□	16	異国情緒	イコクジョウチョ イコクジョウショ	外国風なおもむき・エキゾチック
□□□	17	意志薄弱	イシハクジャク	忍耐がなく、何かをやりとげる気持ちが弱い人
□□□	18	石部金吉	イシベキンキチ	まじめでかたぶつ、融通が利かない人
□□□	19	以心伝心	イシンデンシン	ことばを使わずに心が通じ合う
□□□	20	一意専心	イチイセンシン	一つのことに打ち込み、集中する・一心不乱（イッシンフラン）とほぼ同義
□□□	21	一衣帯水	イチイタイスイ	川や海で隔てられているが、非常に近い関係
□□□	22	一言居士	イチゲンコジ	何かひとこと意見を言わないと気が済まない人
□□□	23	一期一会	イチゴイチエ	一生に一度限りの出会い、機会
□□□	24	一言半句	イチゴンハンク	ほんのわずかなことば
□□□	25	一日千秋	イチジツセンシュウ	ひどく待ち遠しい
□□□	26	一汁一菜	イチジュウイッサイ	つましい食事

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	27 一念発起	イチネンホッキ	やる気になる・決心する
□□□	28 一罰百戒	イチバツヒャッカイ	一人を重く罰することで大勢への警告、戒めとする
□□□	29 一望千里	イチボウセンリ	広々としている
□□□	30 一木一草	イチボクイッソウ	とてもわずかなもののたとえ・転じて、すべてのもの
□□□	31 一網打尽	イチモウダジン	一度にことごとく捕らえる
□□□	32 一目瞭然	イチモクリョウゼン	一目見てはっきりとわかる
□□□	33 一蓮托生	イチレンタクショウ	運命を共にする・死なばもろともと同義
□□□	34 一攫千金	イッカクセンキン	賭けなどでいっきに大きな利益を得る
□□□	35 一喜一憂	イッキイチユウ	状況が変わるたび、喜んだり悲しんだりする
□□□	36 一気呵成	イッキカセイ	一息に仕事をかたづける
□□□	37 一騎当千	イッキトウセン	一人で多くの敵を相手できるほど力がある
□□□	38 一挙一動	イッキョイチドウ	ちょっとした動作の一つ一つ
□□□	39 一挙両得	イッキョリョウトク	一度に二つの利益を得る・一石二鳥（イッセキ ニ チョウ）と同義
□□□	40 一刻千金	イッコクセンキン	わずかな時間が貴重だということ
□□□	41 一切合切	イッサイガッサイ	すべて残らず・何もかも
□□□	42 一子相伝	イッシソウデン	学芸、技芸の極意や秘伝を、我が子一人だけに伝える
□□□	43 一視同仁	イッシドウジン	すべての人を平等に愛する
□□□	44 一瀉千里	イッシャセンリ	すみやかにはかどる・ことばがすらすら出る
□□□	45 一触即発	イッショクソクハツ	ちょっと触れればたちまち爆発する
□□□	46 一進一退	イッシンイッタイ	進んだり後戻りしたりする
□□□	47 一心同体	イッシンドウタイ	心を一つにする
□□□	48 一心不乱	イッシンフラン	一つのことに集中・一意専心（イチ イ センシン）とほぼ同義
□□□	49 一世一代	イッセイチダイ	一生に一度の晴れがましいこと
□□□	50 一世風靡	イッセイフウビ	ある一時代の人々をしたがわせ、 ひきつける・転じて、名前が知れわたること
□□□	51 一石二鳥	イッセキニチョウ	一挙両得（イッキョリョウトク）と同義
□□□	52 一知半解	イッチハンカイ	なまはんかの理解
□□□	53 一朝一夕	イッチョウイッセキ	わずかな時間、日数
□□□	54 一長一短	イッチョウイッタン	よい面も悪い面もある

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	55	一刀両断	イットウリョウダン	物事をすぱっと決断、処理する
□□□	56	衣鉢相伝	イハツソウデン	師匠から弟子に奥義を伝える
□□□	57	威風堂々	イフウドウドウ	威厳あふれる
□□□	58	意味深長	イミシンチョウ	表面的以外に、もっと深い意味がある
□□□	59	因果応報	インガオウホウ	過去の行いに応じて報いがある
□□□	60	慇懃無礼	インギンブレイ	丁寧すぎてかえって無礼を感じる
□□□	61	有為転変	ウイテンペン	浮き沈み、変化し転々とする
□□□	62	右往左往	ウオウサオウ	あわてふためく
□□□	63	烏合之衆	ウゴウノシュウ	規律や統制のない集団
□□□	64	右顧左眄	ウコサベン	周りを気にして決断に迷う
□□□	65	有象無象	ウゾウムゾウ	有形無形のもの、あるいは役立たずの大勢の人
□□□	66	海千山千	ウミセンヤマセン	経験を積み、世の中の裏まで知っている
□□□	67	紆余曲折	ウヨキョクセツ	物事がまっすぐ進まず、曲がりくねる
□□□	68	雲散霧消	ウンサンムショウ	ちりぢりに消えてしまう
□□□	69	栄枯盛衰	エイコセイスイ	栄えることと衰えること
□□□	70	栄耀栄華	エイヨウエイガ	欲しいままに権力や財力を得る・繁栄の極み
□□□	71	得手勝手	エテカッテ	自分勝手・手前勝手
□□□	72	遠交近攻	エンコウキンコウ	遠国と同盟し近隣国を攻撃する
□□□	73	横行闊歩	オウコウカッポ	大いばりで歩く・勝手気ままに振る舞う
□□□	74	傍目八目	オカメハチモク	第三者の方が状況を正しく判断できる・岡目八目とも書く
□□□	75	温厚篤実	オンコウトクジツ	おだやかで人情厚く誠実
□□□	76	温故知新	オンコチシン	伝統から新しい価値を見出す
□□□	77	外交辞令	ガイコウジレイ	外交上、社交上の儀礼的な対応やことば
□□□	78	鎧袖一触	ガイシュウイッショク	簡単に敵を打ち破る
□□□	79	外柔内剛	ガイジュウナイゴウ	外面は柔和だが、内面は意志が強い
□□□	80	快刀乱麻	カイトウランマ	もつれた物事をあざやかに処理する 例 快刀乱麻を断つ
□□□	81	偕老同穴	カイロウドウケツ	共に老い、死んで同じ墓に葬られる・夫婦仲のいいこと
□□□	82	呵呵大笑	カカタイショウ	ハッハと大笑いする
□□□	83	格物致知	カクブツチチ	学問、知識を最高度に修得する
□□□	84	臥薪嘗胆	ガシンショウタン	将来の成功のために苦労し努力する

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	85	佳人薄命	カジンハクメイ	美人はとかく病弱で早死にする・美人薄命（ビジンハクメイ）と同義
□□□	86	花鳥風月	カチョウフウゲツ	自然の美しい風物
□□□	87	隔靴掻痒	カッカソウヨウ	もどかしい・じれったい
□□□	88	合従連衡	ガッショウレンコウ	あちこちと連携し手を結ぶ
□□□	89	我田引水	ガデンインスイ	自分に都合のよい理屈を付け、有利になるように行動する
□□□	90	画竜点睛	ガリョウテンセイ	物事の最後の仕上げ
□□□	91	苛斂誅求	カレンチュウキュウ	租税のむごい徴収
□□□	92	夏炉冬扇	カロトウセン	季節外れ・無用のもの・松尾芭蕉（まつおばしょう）の理想
□□□	93	感慨無量	カンガイムリョウ	ことばにできないほどの感動・感無量とも言う
□□□	94	侃侃諤諤	カンカンガクガク	自分の意見を遠慮なく主張する
□□□	95	頑固一徹	ガンコイッテツ	自分の意見や態度を決して曲げない
□□□	96	眼光紙背	ガンコウシハイ	読解力が鋭くて深く見抜くこと 例 眼光紙背に徹す
□□□	97	換骨奪胎	カンコツダッタイ	古いものに新しい工夫をして独自につくる
□□□	98	勧善懲悪	カンゼンチョウアク	よいことをすすめ、悪をこらしめる
□□□	99	完全無欠	カンゼンムケツ	欠点がなく完璧である
□□□	100	肝胆相照	カンタンソウショウ カンタンアイテラス	心の奥底で通じ合う・意気投合（イキトウゴウ）と同義
□□□	101	玩物喪志	ガンブツソウシ	非実用的な珍奇なものに夢中でいると、大事な志を失う
□□□	102	頑迷固陋	ガンメイコロウ	頑固で道理がわからず、古臭い
□□□	103	閑話休題	カンワキュウダイ	話題を変えるときに使う・ところで
□□□	104	気宇壮大	キウソウダイ	発想のスケールが並外れて大きい
□□□	105	機会均等	キカイキントウ	平等にチャンスを与える
□□□	106	危機一髪	キキイッパツ	わずかの差で助かる・間一髪（カンイッパツ）と同義
□□□	107	奇々怪々	キキカイカイ	非常に怪しい
□□□	108	危急存亡	キキュウソンボウ	生死の瀬戸際
□□□	109	起死回生	キシカイセイ	危機や滅亡から立ち直る・よみがえる
□□□	110	喜色満面	キショクマンメン	顔中よろこびであふれる
□□□	111	疑心暗鬼	ギシンアンキ	疑いの心があると何でも疑わしく心配になる
□□□	112	奇想天外	キソウテンガイ	思いもよらない

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	113	機知機略	キチキリャク	その場に応じて知恵を働かせ適切な手段をうつ
□□□	114	吉凶禍福	キッキョウカフク	幸福と災難
□□□	115	牛飲馬食	ギュウインバショク	非常に多く飲んだり食ったりする・鯨飲馬食（ゲイインバショク）と同義
□□□	116	九牛一毛	キュウギュウノイチモウ	多数の中のごく少ない部分・取るに足らない小さなこと
□□□	117	九死一生	キュウシイッショウ	かろうじて生き残る・九死に一生を得るの略
□□□	118	旧態依然	キュウタイイゼン	古くからの状態そのまま
□□□	119	急転直下	キュウテンチョッカ	事態が急激に変わる
□□□	120	狂喜乱舞	キョウキランブ	非常に喜んで踊りまわる
□□□	121	行住坐臥	ギョウジュウザガ	歩き、止まり、座り、寝ること、つまり日常の振る舞い
□□□	122	驚天動地	キョウテンドウチ	世間を揺さぶる、驚かす
□□□	123	器用貧乏	キヨウビンボウ	あれこれできる人は結局大成しない
□□□	124	興味津々	キョウミシンシン	興味が尽きない
□□□	125	虚々実々	キョキョジツジツ	策略をめぐらして戦い合う
□□□	126	曲学阿世	キョクガクアセイ	真理を曲げて世間や権力者に気に入られる学説を唱える
□□□	127	玉石混交	ギョクセキコンコウ	良いものと悪いものが混じっている
□□□	128	虚心坦懐	キョシンタンカイ	素直で平静な心
□□□	129	漁夫之利	ギョフノリ	第三者が利益を横取りする
□□□	130	毀誉褒貶	キヨホウヘン	ほめたりけなしたりする
□□□	131	金科玉条	キンカギョクジョウ	何よりも優先尊重すべききまりや信条
□□□	132	欣喜雀躍	キンキジャクヤク	よろこび、躍り上がる
□□□	133	謹厳実直	キンゲンジッチョク	まじめで慎み深く、正直である
□□□	134	空々漠々	クウクウバクバク	何もなく、ただ広々と果てしない
□□□	135	空前絶後	クウゼンゼツゴ	過去にも未来にも比べるものがない・珍しい
□□□	136	空中楼閣	クウチュウロウカク	現実性や根拠のない物事・砂上楼閣（サジョウノロウカク）もほぼ同義
□□□	137	空理空論	クウリクウロン	現実には役に立たない理屈や理論
□□□	138	君子豹変	クンシヒョウヘン	態度や意見がガラリと変わること。本来はよい変化だが、悪い変化の意味でも使われる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	139	群雄割拠	グンユウカッキョ	各地に英雄が現れ、勢力を競う
□□□	140	軽挙妄動	ケイキョモウドウ	無分別で軽はずみな行動
□□□	141	鶏口牛後	ケイコウギュウゴ	大組織の一員であるよりも小組織の長であるほうがいい
□□□	142	経世済民	ケイセイサイミン	世を治め民を救う・経済のもとになったことば
□□□	143	蛍雪之功	ケイセツノコウ	苦労して勉学した成果
□□□	144	軽佻浮薄	ケイチョウフハク	軽々しくあさはか
□□□	145	軽薄短小	ケイハクタンショウ	小さくて軽い・重厚長大（ジュウコウチョウダイ）の反対
□□□	146	月下氷人	ゲッカヒョウジン	媒酌人・仲人（なこうど）
□□□	147	牽強付会	ケンキョウフカイ	強引なこじつけ
□□□	148	喧々囂々	ケンケンゴウゴウ	多くの人が口やかましく騒ぐ
□□□	149	言行一致	ゲンコウイッチ	言うことと行動とが一致している
□□□	150	乾坤一擲	ケンコンイッテキ	運命をかけた一発勝負に挑む
□□□	151	捲土重来	ケンドチョウライ ケンドジュウライ	負けた者が再び勢いを盛り返す
□□□	152	権謀術数	ケンボウジュッスウ	人をあざむき、だます・策略・策謀
□□□	153	行雲流水	コウウンリュウスイ	物事に執着せず、自然にまかせるという悠然とした心境や行動
□□□	154	豪華絢爛	ゴウカケンラン	ぜいたくで派手、きらびやかで美しい
□□□	155	厚顔無恥	コウガンムチ	あつかましくて恥知らず
□□□	156	綱紀粛正	コウキシュクセイ	組織の規律を引き締める
□□□	157	巧言令色	コウゲンレイショク	ことば巧みで愛想がいい
□□□	158	公序良俗	コウジョリョウゾク	世間が守るべき公共秩序、善良風俗
□□□	159	広大無辺	コウダイムヘン	果てしなく広い
□□□	160	口頭試問	コウトウシモン	面接試験
□□□	161	荒唐無稽	コウトウムケイ	とりとめなく、でたらめ
□□□	162	公平無私	コウヘイムシ	えこひいきなし
□□□	163	公明正大	コウメイセイダイ	正しく、後ろめたいことがない
□□□	164	呉越同舟	ゴエツドウシュウ	仲の悪い者同士が一緒にいる・転じて、難しい問題に対して協力し合うこと
□□□	165	狐疑逡巡	コギシュンジュン	疑いためらってぐずぐずする
□□□	166	国士無双	コクシムソウ	一国に二人といない優れた人物
□□□	167	孤軍奮闘	コグンフントウ	応援なしに一人で頑張る
□□□	168	古今東西	ココントウザイ	いつでもどこでも

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	169	古今無双	ココンムソウ	昔から今まで並ぶものがいない
□□□	170	虎視耽々	コシタンタン	するどい眼差しで何かを狙う
□□□	171	五十歩百歩	ゴジッポヒャッポ	似たり寄ったりで大差がない
□□□	172	後生大事	ゴショウダイジ	物事を大事に保持し続ける
□□□	173	古色蒼然	コショクソウゼン	いかにも古びているさま
□□□	174	故事来歴	コジライレキ	物事のいわれや由来
□□□	175	誇大妄想	コダイモウソウ	おおげさに考えてそれを信じ込む
□□□	176	刻苦勉励	コックベンレイ	苦労しながらひたすら勉学や仕事に打ち込む
□□□	177	滑稽洒脱	コッケイシャダツ	機知に富み、あか抜けしてさっぱりしている
□□□	178	鼓腹撃壌	コフクゲキジョウ	満ち足りて地面を打ち、腹をたたく・転じて、政治が行き届き、人民が平和に暮らすさま
□□□	179	孤立無援	コリツムエン	ひとりぼっちで助けがない・四面楚歌（シメンソカ）とほぼ同義
□□□	180	五里霧中	ゴリムチュウ	どうしてよいか見当がつかず、困惑する
□□□	181	言語道断	ゴンゴドウダン	もってのほか・とんでもない
□□□	182	渾然一体	コンゼンイッタイ	異質なものが溶け合って区別がつかない
□□□	183	才気煥発	サイキカンパツ	目から鼻に抜ける・かしこさを発揮する
□□□	184	最後通牒	サイゴツウチョウ	話し合いを打ち切り、最後の要求を突き付ける
□□□	185	再三再四	サイサンサイシ	たびたび・何度も
□□□	186	才色兼備	サイショクケンビ	優れた才能と美しい容貌を兼ね備える
□□□	187	三寒四温	サンカンシオン	三日間寒さが続いたあと、四日間は暖かい日が続き、これが繰り返されるという東アジアの気候
□□□	188	三々五々	サンサンゴゴ	あちこちにそれぞれ散らばる
□□□	189	山紫水明	サンシスイメイ	自然の美しい様子
□□□	190	山川草木	サンセンソウモク	草木など、自然
□□□	191	三位一体	サンミイッタイ	三つのものが結びつき、まるで一つのもののようになっている
□□□	192	四海兄弟	シカイケイテイ	世の中の人間はみなすべて兄弟のように仲良くするべきだ
□□□	193	自画自賛	ジガジサン	自分で自分をほめる・手前味噌（テマエミソ）と同義

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	194	自家撞着	ジカドウチャク	つじつまが合わない・自己矛盾（ジコムジュン）と同義
□□□	195	時期尚早	ジキショウソウ	まだ機が熟していない
□□□	196	自給自足	ジキュウジソク	必要なものは自分で作り出す
□□□	197	四苦八苦	シクハック	思うようにいかず苦しむ
□□□	198	試行錯誤	シコウサクゴ	さまざまな方法を試み、失敗しながら目標に近づく
□□□	199	自業自得	ジゴウジトク	自分の悪行が自分に降りかかる
□□□	200	事実無根	ジジツムコン	根も葉もない・根拠がない
□□□	201	獅子奮迅	シシフンジン	すさまじい勢いで奮闘する
□□□	202	自縄自縛	ジジョウジバク	自分の言動で自分の身動きがとれなくなる
□□□	203	自然淘汰	シゼントウタ	自然の環境に適したものが生存し、不適なものが滅びる
□□□	204	時代錯誤	ジダイサクゴ	時代感覚がずれている・時代遅れ
□□□	205	七転八倒	シチテンバットウ	苦しみ、もだえる
□□□	206	質疑応答	シツギオウトウ	質問とそれに対する回答
□□□	207	質実剛健	シツジツゴウケン	飾らずまじめで、心身丈夫
□□□	208	叱咤激励	シッタゲキレイ	大声で叱り飛ばし、気持ちを奮い立たせる
□□□	209	疾風怒濤	シップウドトウ	強い風と荒れ狂う大波
□□□	210	四分五裂	シブンゴレツ シブゴレツ	統一が失われ、バラバラに散開する
□□□	211	自暴自棄	ジボウジキ	捨て鉢・やけっぱち
□□□	212	四面楚歌	シメンソカ	周りはすべて敵・孤立無援（コリツムエン）と同義
□□□	213	杓子定規	シャクシジョウギ	決まりきった基準を無理にあてはめる
□□□	214	弱肉強食	ジャクニクキョウショク	弱いものが強いものに食われてしまう・優勝劣敗（ユウショウレッパイ）と同義
□□□	215	縦横無尽	ジュウオウムジン	思う存分に行う・自由自在（ジユウジザイ）と同義
□□□	216	自由闊達	ジユウカッタツ	縛られず、思いのままにのびのびする・自由奔放（ジユウホンポウ）とほぼ同義
□□□	217	終始一貫	シュウシイッカン	始めから終わりまで変わらない・首尾一貫（シュビイッカン）と同義
□□□	218	周章狼狽	シュウショウロウバイ	あわてふためく
□□□	219	衆人環視	シュウジンカンシ	大勢の人が取り囲んで見る
□□□	220	秋霜烈日	シュウソウレツジツ	厳しい刑罰や権威
□□□	221	十人十色	ジュウニントイロ	人それぞれ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	222	主客転倒	シュキャクテントウ シュカクテントウ	大事なこととそうでないことを取り違える・本末転倒（ホンマツテントウ）と同義
□□□	223	熟慮断行	ジュクリョダンコウ	よく考えてから思い切って行動する
□□□	224	取捨選択	シュシャセンタク	選び取る
□□□	225	種々雑多	シュジュザッタ	いろいろなものが雑然と入り交じっている
□□□	226	酒池肉林	シュチニクリン	ぜいたくを極めた宴会
□□□	227	純真無垢	ジュンシンムク	心にけがれがなく、清らか
□□□	228	順風満帆	ジュンプウマンパン	物事がスムーズにはかどる
□□□	229	上意下達	ジョウイカタツ	上位者の命令が下位の者に届く
□□□	230	笑止千万	ショウシセンバン	おろかしくて笑うべきこと
□□□	231	盛者必衰	ジョウシャヒッスイ ショウジャヒッスイ	勢い盛んな者もいつかは衰える
□□□	232	小人閑居	ショウジンカンキョ	小人物は暇でいると、ついよくないことをする・小人間居とも書く
□□□	233	正真正銘	ショウシンショウメイ	うそ偽りなく本物
□□□	234	小心翼翼	ショウシンヨクヨク	気が小さくびくびくしている
□□□	235	焦眉之急	ショウビノキュウ	事態が切迫している
□□□	236	枝葉末節	シヨウマッセツ	重要でないことがら
□□□	237	諸行無常	ショギョウムジョウ	この世のあらゆるものは絶えず変化しとどまらない
□□□	238	初志貫徹	ショシカンテツ	最初の信念をつらぬく
□□□	239	諸説紛々	ショセツフンプン	さまざまな見解や学説が飛び交い、入り乱れている
□□□	240	自力更生	ジリキコウセイ	自分の力で誤りを認め、立ち直ること
□□□	241	支離滅裂	シリメツレツ	まとまりなく、めちゃくちゃ
□□□	242	思慮分別	シリョフンベツ	注意深く考えをめぐらす
□□□	243	心機一転	シンキイッテン	何かをきっかけに気持ちを切り替える
□□□	244	人口膾炙	ジンコウカイシャ	広く世間の話題にのぼる
□□□	245	深山幽谷	シンザンユウコク	奥深い山や谷
□□□	246	真実一路	シンジツイチロ	うそ偽りのない道をまっしぐら
□□□	247	神社仏閣	ジンジャブッカク	神社とお寺
□□□	248	神出鬼没	シンシュツキボツ	突然現れたり消えたりする
□□□	249	信賞必罰	シンショウヒツバツ	ほめる、罰するを厳格にする
□□□	250	針小棒大	シンショウボウダイ	おおげさに言う
□□□	251	新進気鋭	シンシンキエイ	新分野に進み、意気込みが盛ん

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	252	人生行路	ジンセイコウロ	人生という道・人の一生
□□□	253	人跡未踏	ジンセキミトウ	今まで誰も踏み込んだことがない
□□□	254	新陳代謝	シンチンタイシャ	新しい必要物が摂取され、不要物が排泄される・新旧交替（シンキュウコウタイ）と同義
□□□	255	深謀遠慮	シンボウエンリョ	よくよく考えて計画する
□□□	256	人面獣心	ジンメンジュウシン	冷酷非情で恩義をわきまえぬ人間
□□□	257	森羅万象	シンラバンショウ	この世のありとあらゆること・宇宙・自然
□□□	258	酔生夢死	スイセイムシ スイセイボウシ	何のなすところもなく一生を過ごす・無為（ムイ）徒食（トショク）とほぼ同義
□□□	259	晴耕雨読	セイコウウドク	晴れたら仕事し、雨なら読書するというのんびりした生活
□□□	260	生殺与奪	セイサツヨダツ	生かすも殺すも思うまま
□□□	261	生々流転	セイセイルテン ショウジョウルテン	万物が次々生じ、移り変わる
□□□	262	贅沢三昧	ゼイタクザンマイ	心のおもむくままに贅沢し放題
□□□	263	青天白日	セイテンハクジツ	うしろめたいことがない・潔白
□□□	264	正当防衛	セイトウボウエイ	不正な暴力に対し自衛のため攻撃
□□□	265	清廉潔白	セイレンケッパク	清く正しく私欲がなく、不正を働くことがない
□□□	266	是々非々	ゼゼヒヒ	よいことはよい、悪いことは悪いと公正に判断する
□□□	267	切磋琢磨	セッサタクマ	互いに励まし合い、高め合う
□□□	268	切歯扼腕	セッシヤクワン	ひどく口惜しがる
□□□	269	絶体絶命	ゼッタイゼツメイ	どうにも逃れられない困難な立場
□□□	270	専横跋扈	センオウバッコ	他を無視して欲しいままに振る舞うこと
□□□	271	浅学非才	センガクヒサイ	学識才能が浅く未熟・浅学菲才とも書く
□□□	272	善後処置	ゼンゴショチ	後始末をよくする・善後策（ゼンゴサク）と同義
□□□	273	前後不覚	ゼンゴフカク	あとさきもわからないほど正体をなくす
□□□	274	千載一遇	センザイイチグウ	めったにない好機
□□□	275	千差万別	センサバンベツ	種々さまざまな違いがある
□□□	276	全身全霊	ゼンシンゼンレイ	身も心も全部
□□□	277	前人未踏	ゼンジンミトウ	今まで誰も成し遂げたことがない・前人未到とも書く
□□□	278	戦々兢々	センセンキョウキョウ	恐れおののく・戦々恐々とも書く
□□□	279	前代未聞	ゼンダイミモン	今まで聞いたことがないほど珍しい

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	280	前途洋々	ゼントヨウヨウ	未来が明るく希望に満ちている
□□□	281	千篇一律	センペンイチリツ	すべて似たようなもので変化がない
□□□	282	千変万化	センペンバンカ	さまざまに変化する
□□□	283	善隣友好	ゼンリンユウコウ	隣国や隣家と仲良くしていく
□□□	284	粗衣粗食	ソイソショク	粗末な食事、粗末な服・簡素でつつましい生活
□□□	285	創意工夫	ソウイクフウ	新しく考え出し工夫する
□□□	286	相互扶助	ソウゴフジョ	互いに助け合う
□□□	287	漱石枕流	ソウセキチンリュウ	失敗を認めぬ強情さ
□□□	288	則天去私	ソクテンキョシ	自然の摂理に従い私心を捨て去る・夏目漱石（なつめそうせき）の理想
□□□	289	尊王攘夷	ソンノウジョウイ	王室を尊んで、異民族を打ち払うこと
□□□	290	大願成就	タイガンジョウジュ ダイガンジョウジュ	大きな願い事がかなう
□□□	291	大器晩成	タイキバンセイ	大人物ほど頭角を現すのが遅い
□□□	292	大義名分	タイギメイブン	行動の根拠や理由
□□□	293	大言壮語	タイゲンソウゴ	大口をたたく・力量以上のことを言う
□□□	294	大山鳴動	タイザンメイドウ	大騒ぎだが結果はたいしたことがない・大山鳴動してねずみ一匹の略
□□□	295	大所高所	タイショコウショ	細かいことにとらわれず、広く高い視野から物事をみる
□□□	296	泰然自若	タイゼンジジャク	落ち着いて周りに惑わされない
□□□	297	大胆不敵	ダイタンフテキ	度胸があっておじけない
□□□	298	大同小異	ダイドウショウイ	ほとんど同じ
□□□	299	大同団結	ダイドウダンケツ	共通の目的のために、小異を捨てて団結すること
□□□	300	多岐亡羊	タキボウヨウ	方針が多すぎてどれを選んだらよいか迷う
□□□	301	多士済々	タシセイセイ	立派な人物が大勢いる
□□□	302	多情多恨	タジョウタコン	感じやすく、それだけに恨みに思ったり悔やんだりしやすい
□□□	303	多情仏心	タジョウブッシン	感じやすく移り気だが、薄情なことはできない
□□□	304	単刀直入	タントウチョクニュウ	前置きなしに直接本題にふれる
□□□	305	談論風発	ダンロンフウハツ	盛んに話し合い、論じ合う
□□□	306	遅疑逡巡	チギシュンジュン	どうしようかとぐずぐずためらう

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	307	知行合一	チコウゴウイツ	真の知識は実践が伴う・言行一致（ゲンコウイッチ）とほぼ同義
□□□	308	魑魅魍魎	チミモウリョウ	妖怪変化・化け物
□□□	309	忠君愛国	チュウクンアイコク	主君に忠義を尽くし、国を愛する
□□□	310	躊躇逡巡	チュウチョシュンジュン	ためらい、尻込みする
□□□	311	朝三暮四	チョウサンボシ	全体的には同じなのに目先の損得にとらわれる・言葉たくみに人をだます
□□□	312	丁々発止	チョウチョウハッシ	刀で打ち合う・激しい言い争い・打々発止とも書く
□□□	313	跳梁跋扈	チョウリョウバッコ	好ましくないものが思うままにのさばる
□□□	314	朝令暮改	チョウレイボカイ	一貫性がない・ころころ変わる
□□□	315	直情径行	チョクジョウケイコウ	思ったことをそのまま実行
□□□	316	猪突猛進	チョトツモウシン	向こう見ずにまっしぐらに突き進む
□□□	317	沈魚落雁	チンギョラクガン	魚が沈み、鳥が落ちるほどの絶世の美女
□□□	318	沈思黙考	チンシモッコウ	じっと深く考え込む
□□□	319	枕石漱流	チンセキソウリュウ	社会を捨て、自然の中で暮らすこと
□□□	320	津々浦々	ツツウラウラ	国中のいたるところ
□□□	321	適材適所	テキザイテキショ	能力に応じた地位や部署におく
□□□	322	適者生存	テキシャセイゾン	環境や状況に適応できるものだけが生き残る
□□□	323	徹頭徹尾	テットウテツビ	終始貫き通す・終始一貫（シュウシイッカン）と同義
□□□	324	手練手管	テレンテクダ	人を意のままに操ろうとする技巧
□□□	325	天衣無縫	テンイムホウ	わざとらしくない、自然のままの性格・完全無欠の意もある
□□□	326	天涯孤独	テンガイコドク	身寄りもなくひとりぼっち
□□□	327	天下一品	テンカイッピン	並ぶものがないほど立派
□□□	328	電光石火	デンコウセッカ	非常にすばやい・短い間
□□□	329	天真爛漫	テンシンランマン	純粋無垢・飾らず無邪気
□□□	330	天地開闢	テンチカイビャク	世界の始まり・この世の初め
□□□	331	天変地異	テンペンチイ	自然災害
□□□	332	天網恢々	テンモウカイカイ	天は厳正であるから、悪事を見逃さない
□□□	333	当意即妙	トウイソクミョウ	その場や状況に適応して気を利かせる
□□□	334	同工異曲	ドウコウイキョク	技巧は同じだが調子が少し違う・大同小異（ダイドウショウイ）と同義の、中身はほぼ同じという意味もある

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	335	同床異夢	ドウショウイム	同じ仲間でありながら異なった考えをもつ
□□□	336	東奔西走	トウホンセイソウ	あちこち忙しく走り回る
□□□	337	得意満面	トクイマンメン	誇らしげな気持ちが顔中に表れている・喜色満面（キショクマンメン）とほぼ同義
□□□	338	読書百遍	ドクショヒャッペン	難解な本も何度も読めば意味が自然とわかってくる
□□□	339	独断専行	ドクダンセンコウ	他の意見を考慮せず、自分だけで思うまま行う
□□□	340	独立自尊	ドクリツジソン	自立して、自己の尊厳を保つ
□□□	341	内政干渉	ナイセイカンショウ	他国の政治や他人の内情に立ち入ったり、口出ししたりする
□□□	342	内憂外患	ナイユウガイカン	内外に心配や問題を抱えている
□□□	343	難攻不落	ナンコウフラク	攻めるのが難しく、なかなか陥落しない
□□□	344	南船北馬	ナンセンホクバ	各地にせわしく旅をする
□□□	345	二束三文	ニソクサンモン	値段が極めて安い
□□□	346	日常茶飯	ニチジョウサハン	当たり前・ありふれたこと
□□□	347	日進月歩	ニッシンゲッポ	絶え間なく進歩する
□□□	348	二律背反	ニリツハイハン	互いに対立矛盾して、両立し得ない
□□□	349	年功序列	ネンコウジョレツ	年齢や勤続年数によって地位や給料に上下をつける
□□□	350	徘徊往来	ハイカイオウライ	さまよい歩く
□□□	351	背水之陣	ハイスイノジン	必死の覚悟で事態に対処する
□□□	352	破顔一笑	ハガンイッショウ	顔をほころばせてにっこりする
□□□	353	博引旁証	ハクインボウショウ	多くの文献から用例を引用し、証拠を示して説明する
□□□	354	博学多才	ハクガクタサイ	学識が広く、才能も多方面に豊か
□□□	355	白砂青松	ハクシャセイショウ ハクサセイショウ	海岸沿いの美しい風景
□□□	356	拍手喝采	ハクシュカッサイ	賞賛し、ほめたたえる
□□□	357	博覧強記	ハクランキョウキ	多くの本を読み、豊富な知識をたくわえている
□□□	358	薄利多売	ハクリタバイ	個々の利益を少なくし、大量に売る
□□□	359	馬耳東風	バジトウフウ	人の話にまるで耳を貸さぬ・馬の耳に念仏と同義
□□□	360	八面六臂	ハチメンロッピ	多方面で活躍する・多芸多才（タゲイタサイ）と同義
□□□	361	八方美人	ハッポウビジン	誰からもよく思われようとする

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	362	波瀾万丈	ハランバンジョウ	人生が激しく変化に富む、浮沈が激しい
□□□	363	罵詈讒謗	バリザンボウ	罵詈雑言（バリゾウゴン）とほぼ同義
□□□	364	罵詈雑言	バリゾウゴン バリゾウゲン	悪口を言ってののしる・悪口雑言（アッコウゾウゴン）と同義
□□□	365	万古不易	バンコフエキ	いつまでも変わらない・万世不易（バンセイフエキ）、千古不易（センコフエキ）とほぼ同義
□□□	366	半信半疑	ハンシンハンギ	本当かうそかわからず迷う
□□□	367	万世不易	バンセイフエキ	未来永劫変わらない・万古不易（バンコフエキ）とほぼ同義
□□□	368	反面教師	ハンメンキョウシ	悪い見本
□□□	369	美辞麗句	ビジレイク	美しく飾り立てたことば
□□□	370	眉目秀麗	ビモクシュウレイ	顔立ちが整って非常に美しい
□□□	371	百家争鳴	ヒャッカソウメイ	多くの学者が盛んに論じ合う
□□□	372	百花繚乱	ヒャッカリョウラン	優れた人材や業績が一時期にたくさん現れる
□□□	373	百鬼夜行	ヒャッキヤコウ ヒャッキヤギョウ	妖怪の行列・たくさんの人があやしく醜い行いをすること
□□□	374	比翼連理	ヒヨクレンリ	夫婦の情愛が極めて深い
□□□	375	品行方正	ヒンコウホウセイ	心や行いがきちんとして正しい
□□□	376	風光明媚	フウコウメイビ	自然の景色が美しい
□□□	377	武運長久	ブウンチョウキュウ	戦いに勝つ・幸運がいつまでも続く
□□□	378	不易流行	フエキリュウコウ	永遠性と変化・松尾芭蕉の俳句理念
□□□	379	不可抗力	フカコウリョク	人の力ではどうにもならない
□□□	380	不可思議	フカシギ	常識では考えられない怪しく異様なこと
□□□	381	複雑怪奇	フクザツカイキ	事態が非常に込み入って奇妙なこと
□□□	382	不倶戴天	フグタイテン	生かしてはおけない敵 例 不倶戴天の敵
□□□	383	不言実行	フゲンジッコウ	あれこれことばで言わず、行動する
□□□	384	不即不離	フソクフリ	近すぎず遠すぎない関係
□□□	385	不撓不屈	フトウフクツ	困難にあたってもくじけない
□□□	386	不得要領	フトクヨウリョウ	要領を得ない・趣旨がはっきりしない
□□□	387	不偏不党	フヘンフトウ	かたよらず、公正中立の立場をとる
□□□	388	不眠不休	フミンフキュウ	休まず一つのことに打ち込み続ける
□□□	389	不立文字	フリュウモンジ	文字ことばではなく、心と心で伝える
□□□	390	付和雷同	フワライドウ	自分の意見を持たず、他人の説にわけもなく賛成する・雷同付和とも言う

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	391	刎頸之交	フンケイノマジワリ	生死を共にする親しい交際
□□□	392	粉骨砕身	フンコツサイシン	骨身を惜しまず、力を尽くす
□□□	393	焚書坑儒	フンショコウジュ	言論弾圧・思想統制
□□□	394	平身低頭	ヘイシンテイトウ	ぺこぺこする
□□□	395	変幻自在	ヘンゲンジザイ	姿を変えたり消したり自由自在
□□□	396	片言隻語	ヘンゲンセキゴ	ちょっとしたことば・片言隻句（ヘンゲンセキク）と同義
□□□	397	傍若無人	ボウジャクブジン	勝手気ままに振る舞う
□□□	398	茫然自失	ボウゼンジシツ	驚きのあまり我を忘れる
□□□	399	抱腹絶倒	ホウフクゼットウ	腹を抱えて大笑いする
□□□	400	本末転倒	ホンマツテントウ	重要なこととつまらないことを取り違える・主客転倒（シュキャクテントウ）と同義
□□□	401	摩訶不思議	マカフシギ	非常に不思議なこと
□□□	402	真平御免	マッピラゴメン	まったく受け入れられない
□□□	403	満場一致	マンジョウイッチ	全員の意見が同じ・全会一致（ゼンカイイッチ）とほぼ同義
□□□	404	満身創痍	マンシンソウイ	全身傷だらけ
□□□	405	三日天下	ミッカテンカ	非常に短い期間しか地位や権力を維持できない
□□□	406	未来永劫	ミライエイゴウ	この先ずっと
□□□	407	無為自然	ムイシゼン	人間の手を加えないありのままの自然・老子荘子（ろうしそうし）の思想
□□□	408	無為徒食	ムイトショク	何もせずただいたずらに日々を過ごす・酔生夢死（スイセイムシ）と同義
□□□	409	無学文盲	ムガクモンモウ	学識がなく、文字が読めない
□□□	410	無我夢中	ムガムチュウ	我を忘れるほど何かに熱中する
□□□	411	無芸大食	ムゲイタイショク	何もできないのに食べるのだけは人一倍
□□□	412	無間地獄	ムゲンジゴク ムケンジゴク	絶え間のない苦しみ
□□□	413	無知蒙昧	ムチモウマイ	知識や知恵がない
□□□	414	無念無想	ムネンムソウ	いっさいの雑念をはらい無心になる
□□□	415	無病息災	ムビョウソクサイ	病気にもならず健康である
□□□	416	無味乾燥	ムミカンソウ	味気ない・おもしろみがない
□□□	417	無理難題	ムリナンダイ	とても解決できそうにない問題
□□□	418	明鏡止水	メイキョウシスイ	雑念のない澄み切った心境
□□□	419	名所旧跡	メイショキュウセキ	事件や有名な建築物があった場所やその跡

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	420	名誉挽回	メイヨバンカイ	一度失った評価を取り戻す・汚名返上（オメイヘンジョウ）とほぼ同義
□□□	421	明朗闊達	メイロウカッタツ	明るく朗らかで、細かいことにこだわらない・闊達明朗とも言う
□□□	422	滅私奉公	メッシホウコウ	私利私欲を捨て、社会のために力を尽くす
□□□	423	面従腹背	メンジュウフクハイ	表面では従うと見せかけて、内心では反発する
□□□	424	孟母三遷	モウボサンセン	子供の教育には環境が大切だ
□□□	425	孟母断機	モウボダンキ	物事を中途で投げ出しては何にもならない
□□□	426	物見遊山	モノミユサン	見物し遊びに行く
□□□	427	門外不出	モンガイフシュツ	貴重品を秘蔵にして外部に貸し出したりしない
□□□	428	門戸開放	モンコカイホウ	規制をやめて出入りを自由にする
□□□	429	唯一無二	ユイイツムニ	並ぶものがまったくない
□□□	430	唯我独尊	ユイガドクソン	自分だけがえらいと思っている・一人よがり
□□□	431	由緒来歴	ユイショライレキ	物事の起源や由来
□□□	432	有形無形	ユウケイムケイ	形のあるものと形のないもの
□□□	433	有終之美	ユウシュウノビ	最後までやりとおして立派に成果をあげる
□□□	434	優柔不断	ユウジュウフダン	ぐずぐずして思い切りが悪い
□□□	435	優勝劣敗	ユウショウレッパイ	優れたものが勝ち、劣ったものが負ける
□□□	436	雄大豪壮	ユウダイゴウソウ	はでやかで勢いがある
□□□	437	融通無碍	ユウズウムゲ	邪魔するものがなく自由である
□□□	438	有名無実	ユウメイムジツ	名前だけで実質がない
□□□	439	勇猛果敢	ユウモウカカン	勇気があって思い切って行動の決断ができる
□□□	440	悠々自適	ユウユウジテキ	自分の欲っするままにゆったりと暮らす
□□□	441	用意周到	ヨウイシュウトウ	準備がすっかり整う・準備万端
□□□	442	容姿端麗	ヨウシタンレイ	顔立ちや姿が整って美しい
□□□	443	羊頭狗肉	ヨウトウクニク	見かけは立派だが、内実がともなわない
□□□	444	余裕綽々	ヨユウシャクシャク	ゆったりと落ち着きはらっている
□□□	445	利害得失	リガイトクシツ	得ることと失うこと
□□□	446	離合集散	リゴウシュウサン	集まったり離れたりする
□□□	447	立身出世	リッシンシュッセ	高い地位につき有名になる
□□□	448	理非曲直	リヒキョクチョク	道理にかなっていることと外れていること

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□□□	449	流言飛語	リュウゲンヒゴ	でたらめなうわさ話・流言蜚語とも書く
□□□	450	竜頭蛇尾	リュウトウダビ	最初は勢いがいいが、終わりは振るわない
□□□	451	理路整然	リロセイゼン	考え方や話の筋道がよく通っている
□□□	452	臨機応変	リンキオウヘン	状況に適切に対処する
□□□	453	輪廻転生	リンネテンショウ	生きとし生けるものがさまざまな形態の生を繰り返す
□□□	454	礼儀作法	レイギサホウ	敬意を表すしきたり
□□□	455	冷酷無残	レイコクムザン	冷たく無慈悲・冷酷無情や冷酷非情とほぼ同義
□□□	456	冷徹非情	レイテツヒジョウ	冷静で一切の感情を差し挟まない
□□□	457	論功行賞	ロンコウコウショウ	功績を評価して、それに応じた賞を与えること
□□□	458	和魂漢才	ワコンカンサイ	日本的精神と中国の学問を兼ね備える
□□□	459	和魂洋才	ワコンヨウサイ	日本的精神を維持しつつ西洋の学問技術を取り入れる
□□□	460	和洋折衷	ワヨウセッチュウ	日本風と西洋風の様式を取り合わせる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　接続語　解答

練習問題1　解答

① 日本には、ボランティア団体であるＮＰＯ法人が四万以上ある。［とりわけ］、数が多いのは、保健医療福祉分野の団体である。

② 日本での寄付の総額は一兆円である。そのうち、個人の寄付が約五十二％、［また］法人が約四十八％となっている。

③ アメリカでは州によってはボランティアが中高生の必須科目になっている。［例えば］、カリフォルニア州では十二時間の活動が卒業までに必要である。

④ 衆議院選挙の投票率は若い世代ほど低い傾向にある。［そのため］、若者の政治的無関心が広がっていると言われる。

⑤ 産業用ロボットの稼働台数は世界一と言われる。［つまり］、製造業の自動化が日本では進んでいるのだ。

練習問題2　解答

① なるほど、男女雇用機会均等法はこれまで改正を重ねてきた。［しかし］、男女格差が十分に是正されているとは言えない。

② 日本の新聞発行部数は、九〇年代末をピークに、［その後］、ゆるやかに減少傾向を続けている。

③ 国際競争力では、日本の技術開発力［ならびに］、消費者の洗練度は最高水準である。

④ ［たしかに］、企業は自社の利益を真っ先に考えるものだ。しかし、社会的責任も考えに入れなければならない。

⑤ 地方自治体は、様々な課題に直面している。［なかでも］、空き家やゴミ屋敷は深刻な問題だ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

練習問題３　解答

① 世界では難民問題が深刻化している。戦争難民が二千万人を超え、［その上］、環境難民も二千万人を超えている。
② 淡水は実は希少資源である。［なぜなら］、地球上の水資源のうち海水がおよそ九七％を占めるからだ。
③ 廃プラスチックの相当な量が、再利用されているか、［あるいは］、熱回収という方法で役立っている。
④ 野生動物の保護を目的とするワシントン条約については以上です。［では］、湿地保護のラムサール条約の話に移りましょう。
⑤ 世間のイメージに反して、少年の凶悪犯罪の総数は増えてはいない。［むしろ］、数は減少傾向である。

接続語の復習問題１　解答

① ［あたかも］教育立国であるかのように思われがちだが、日本では教育費の私費負担率が高いのが実態である。
② 例えば、内科、外科、婦人科、小児科、眼科などがある。［このように］、病院の診療科は多岐にわたる。
③ ジェネリック医薬品の普及率が上昇しつつある。［というのも］、政府の促進予算が付くようになったからだ。
④ 公共交通機関のバリアフリー化はまだ十分とは言えない。［それゆえ］、移動に制約や困難を伴う人が多くいる。
⑤ なるほど医師の総数は増えている。［けれども］、産科婦人科医は減っているのが日本の現状である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題２　解答

知識とは眼鏡である。

もちろん、これは、すべての知識人は眼鏡をかけているなどという意味ではない。正確に言えば、知識とは、それがあるときとないときとでは、ものの見え方、世界のあらわれ方が違ってくるものであり、その点で眼鏡になぞらえることができる、と言いたいのである。ゆえに正確には、知識とはまるで眼鏡のように機能するものである。

実際に眼鏡をかけている人にはわかりやすいだろうが、それまで茫漠（ぼうばく）とかすんでいた視界が、眼鏡をかけたとたん、はっきりと見えてくる。さっきまでぼやけていたあの物は、実はこういう物だったのか、という具合に。

同様に、知識があれば今までわからなかったことに説明がつく。例えば、子供の頃に説明がついていた世界と大人になった今、説明理解できる世界とを比べれば、このことはわかりやすいだろう。

ところで、知識には様々な種類がある。[したがって]、「眼鏡」をかけることで、それぞれに見えてくる世界がちがうということになる。[例えば]経済学の知識＝「眼鏡」があれば、人間の社会活動やお金の流れなどは、他の人とは違って見える。[また]、法律学者が見ているこの世界と他の人が見ているこの世界とでは違いがある。さらに、知識がより体系化されたものである「理論」は一層、眼鏡らしい性質をもつ。端的な例を挙げれば、マルクス主義の理論から見れば、世界は階級対立の世界と映る。この意味で、知識とは色眼鏡であると表現することもできる。また特殊な領域を知り、理解するためには特殊な知識や理論が必要になる。こうした専門知識での眼鏡は[まるで]、顕微鏡や天体望遠鏡のように機能すると言うことができる。

（小柴（こしば）　大輔（だいすけ）『知識とはどういうものか』）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題3 解答

私たち人間の認識、知識の状態には三つの段階があるように思われる。［すなわち］、知識が頭の中にある状態、口で話された状態、そして文字で「かかれた」状態の三つである。

［例えば］、私たちは次のようなことを日常的に経験しているのではないだろうか。ある事柄について、頭ではわかっているつもり、自分ではわかっているはずのことを、いざ人に話して説明しようとするとうまくいかないという経験だ。［あるいは］、会話の中ではすらすら言えたことが、文字・文章として書き記そうとすると、つっかえてしまうという経験である。［このように］、認識、知識の三つの状態の間には明らかに断絶が存在する。

さて、これら三つの間の違い、差異について考えていく前に重要なことは、この三つの状態いずれにも言葉、言語が関わっているということである。話したり書いたりするときに言葉が使われるということは言うまでもないが、頭の中で考えるときにも私たちは言葉を使って考えている。疑わしいと思う人は、自分で早速試してみるがいい、言葉を使わずに考えることができるかどうか。ここに書かれていることに対する同意にしろ反論にしろ、あなたはすでに言葉を使ってそうしているはずだ。いや、思考というより、もっと感覚的な次元においてすら、「痛い」「おいしい」「悲しい」「うれしい」等々、私たちは言葉を通じて感じているのである。

［では］、知識＝認識が頭の中にある状態、話された状態、書かれた状態の三つの差異は、どのようなものとしてあらわれてくるのか。すなわち、それらの間に横たわっているのは言葉の明確さ・明断性の度合いの違いであり、普遍性の程度の違いである。言い換えれば、知識＝認識が頭の中にある状態では、それは自分だけの了解であったわけだが、話すときには自分以外の他者にもわかるように、みんなが共有している言葉の規則（言語学や記号論では、こうした共通規則のことをコード＝Codeと読んだりする）や文法に従って話さなければならない。だから、頭の中にとどまっていた状態に比べ、話されるときには、知識＝認識は明瞭になっているわけだし、またあまりに曖昧なままの知識＝認識は言葉で語ることができない（自分ではわかっているつもりだったのに、うまく他人に説明できない）ということになる。

（小柴 大輔『「かく」ということについて』）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題4 解答

発話の場合には、表情やしぐさといった非言語的な仕方で意味をくみとってもらえる可能性があり、不明瞭で曖昧でひどく簡略化された言葉遣いでも、案外会話は成り立ってしまう。相手の性格や人柄を知っているときにはなおさらだ。例えば、ごく親しい友人同士の会話や親子の間の言葉のやりとりを想起したらわかるだろう。

かくて、書くという段階にいたって知識＝認識を表現し、他者に理解してもらうのに頼れるのは言葉の共通規則だけということになる。いや、むしろ言葉の共通規則だけに頼るからこそ、明確性（自分だけでなくみんなにもわかる）が増す。個人的知識、主観的知識が普遍的、客観的知識へと変貌する。［ゆえに］、文章を書くときに感じるわずらわしさや苦しみは、頭の中にあった独りよがりの思考を、言葉の共通規則に乗せることの苦しみ、困難さということになる。こうした困難さを伴うとはいえ、頭の中で眠っていた知識＝認識、すなわち可能性としてだけ存在していた知識＝認識が、言葉の共通規則を通じて現実に表現され、明確化される。古代哲学の巨人、アリストテレスのことばをかりれば、「デュナミス（可能態）からエネルゲイア（現実態）へ」ということになろうか。

けれども、この短い論考で述べようとしている「かく」ということの特異性は、明確性ということに尽きない。［というのも］、「かく」ということのなお一層の特異性とは、「かかれた」ものが自律性をもつということであるからだ。［つまり］、文字なり活字なりによって紙の上に記されることで、それを生み出した人間の身体（思考過程や脳を含んだ身体）から独立した実体を獲得する。先に書かれた知識が個人的なものではなく他者にもわかるという意味で客観的だと述べたが、実は主観・意識・思考過程から離れて「物」となったという意味でも「かかれた」ものは客観的である。

こうして「かく」という行為を通じて自律化・客観化されたものは広く他者によって見られたり、鑑賞されたり、批評、批判されたりすることになる。その際に重要なことは、書き手＝筆者の意図とは別に評価されたり、批判されたりすることがあるということである。この意味でも「かかれた」ものは自律性をもつ。この点、小説や論文だけでなく、絵画や彫刻などの美術作品についても全く同様のことが言える。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

かくして、私たちは広く「かく」という行為を通じて自らの知識＝認識を明確化し、［また］思考を自律化、客観化することができる。そうしてはじめて気づく自分というものもあろう。つまり、「かく」ということは、［いわば］客観化された自分との対面の場とも言えそうだ。

（小柴　大輔『「かく」ということについて』）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。